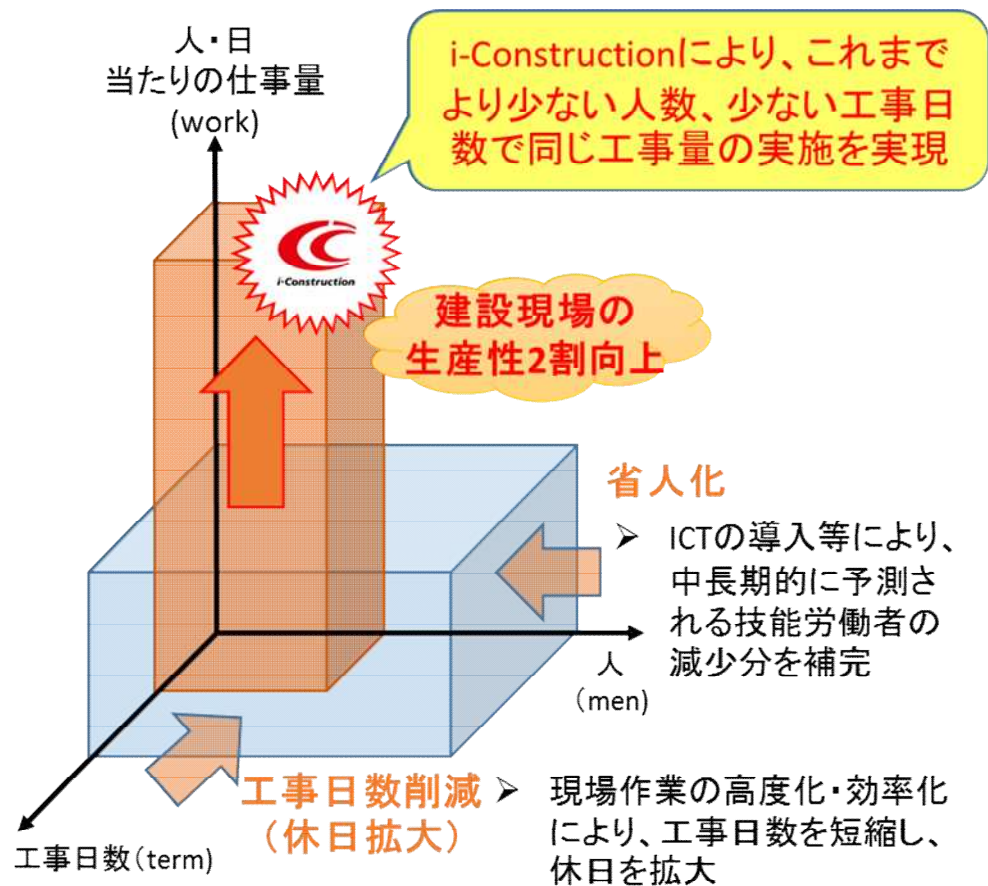


関係団体等における取組み事例

国土交通省における取組み

- 平成28年9月12日の未来投資会議において、安倍総理から第4次産業革命による『建設現場の生産性革命』に向け、建設現場の生産性を**2025年度までに2割向上**を目指す方針が示された。
- この目標に向け、3年以内に、橋やトンネル、ダムなどの公共工事の現場で、測量にドローン等を投入し、施工、検査に至る建設プロセス全体を3次元データでつなぐなど、新たな建設手法を導入。
- これらの取組によって**従来の3Kのイメージを払拭**して、多様な人材を呼び込むことで人手不足も解消し、全国の建設現場を**新3K (給与が良い、休暇がとれる、希望がもてる) の魅力ある現場に劇的に改善**。

【生産性向上イメージ】



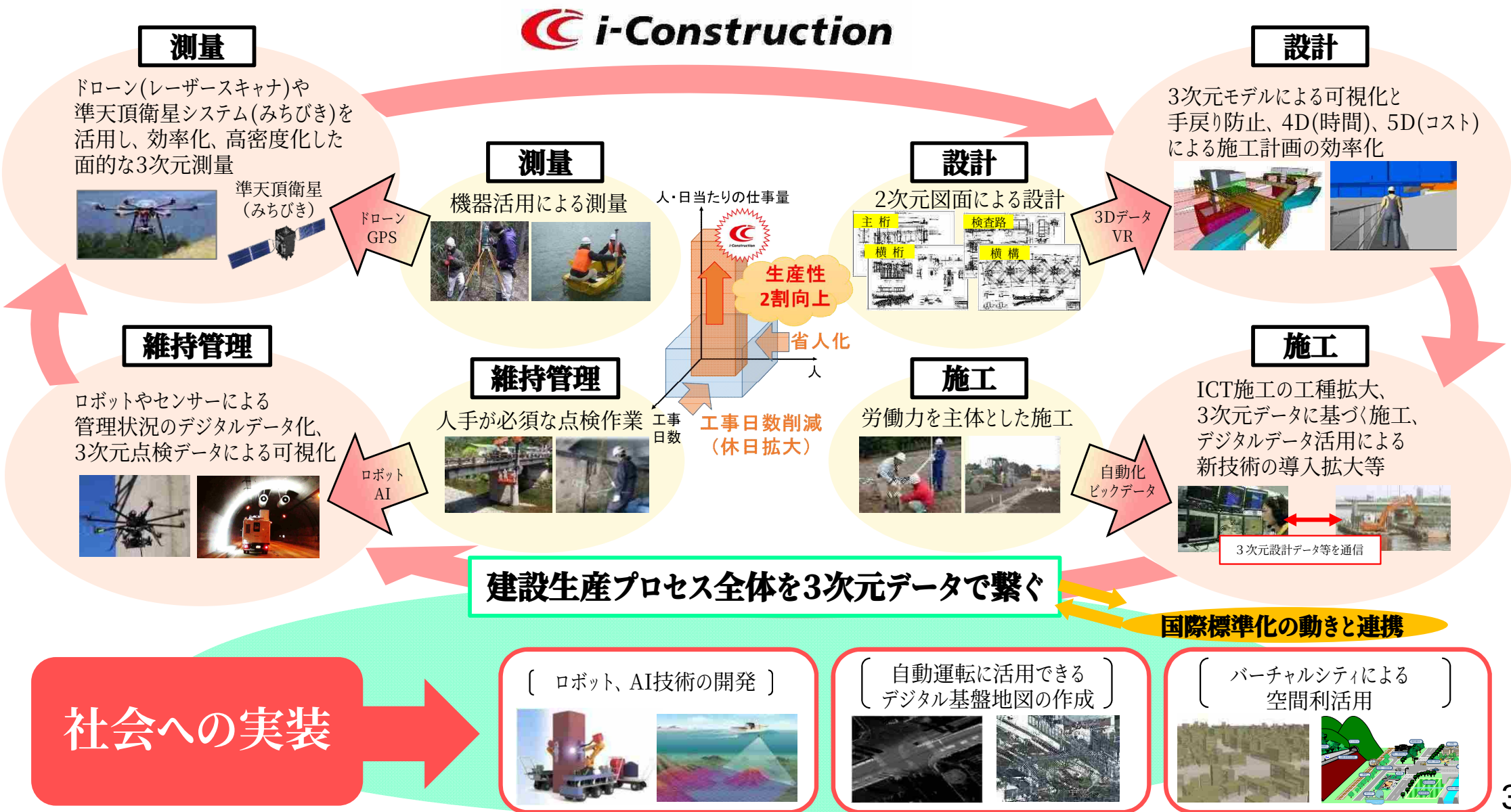
平成28年9月12日未来投資会議の様



ICTの土工への活用イメージ (ICT土工)

Society5.0におけるi-Constructionの「深化」

- Society5.0においてi-Constructionを「深化」させ、建設現場の生産性を2025年度までに2割向上を目指す
- 平成30年度は、ICT施工の工種拡大、現場作業の効率化、施工時期の平準化に加えて、測量から設計、施工、維持管理に至る建設プロセス全体を3次元データで繋ぎ、新技術、新工法、新材料の導入、利活用を加速化するとともに、国際標準化の動きと連携



平成28年 「生産性革命元年」
平成29年 「生産性革命前進の年」
平成30年 「生産性革命深化の年」

「i-Construction」の取組が、建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取組へと「深化」するシンボルとして、2018年6月1日にロゴマークを決定・公表。



i-Construction

【ロゴマークの使用例（案）】

○ロゴマークの使用にあたって、事前の使用申請などは不要。ただし、下記の使用例等を参考として、「i-Construction」の取組の普及・促進を目的として普及・拡大。

○本ロゴマークは商標登録しており、上記の目的から著しく逸脱していると見受けられる使用方法の場合は、使用の差し止めを求めることができる。



建設現場の生産性向上（i-Construction）の優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionを推進することを目的に、平成29年度、「**i-Construction大賞**」を創設

○i-Construction大賞の表彰対象・審査

前年度に完成した直轄工事を実施した団体を対象とし、地方整備局等からの推薦、省内に設置した『i-Construction大賞選考委員会（委員長：国土交通省技監）』における審議を経て、表彰団体を決定

■第1回表彰団体（H29.12.11発表）

NO	表彰の種類	分野	企業名	工事名	工事担当地等
1	国土交通大臣賞	道路	(株) 砂子組	道央圏連絡道路 千歳市 泉郷改良工事	北海道
2	国土交通大臣賞	道路	カナツ技建工業（株）	多伎朝山道路小田地区改良第12工事	中国
3	優秀賞	河川	(株) 小山建設	北上川上流曲田地区築堤盛土工事	東北
4	優秀賞	河川	金杉建設（株）	H27荒川西区川越線下流下築堤工事	関東
5	優秀賞	河川	会津土建（株）	宮古弱小堤防対策工事	北陸
6	優秀賞	道路	(株) 新井組	平成27年度中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事	中部
7	優秀賞	道路	中林建設（株）	第二阪和国道大谷地区道路整備工事	近畿
8	優秀賞	港湾	五洋・井森特定JV	徳山下松港新南陽地区航路（-12m）浚渫工事	中国
9	優秀賞	河川	(株) 福井組	H27-28 川島漏水対策工事	四国
10	優秀賞	港湾	若築・あおみ特定JV	須崎港湾口地区防波堤築造工事	四国
11	優秀賞	砂防	(株) 野添土木	長谷川 4 号床固工・右岸導流堤工事	九州
12	優秀賞	道路	(株) 丸政工務店	平成28年度恩納南BP1工区改良（その13）工事	沖縄

○今後の予定

昨今の取組の広がりを踏まえ、**地方公共団体発注工事や民間企業の独自の取組なども表彰**対象とし、官民間問わず優れた取組の全国的な普及・展開を推進

■第1回表彰式（H30.2.15開催）



■第1回表彰団体の取組（例）



本社内の「ICT施工推進室」で現場をバックアップ【(株)砂子組】



多くの見学会や取材対応を通じて情報発信【(株)砂子組】



元請自ら3次元設計データを作成【カナツ技建工業(株)】



地元企業中心のプロジェクトチーム「i-Con etc隊」を結成【カナツ技建工業(株)】（アイコン エトセトラ）

- 国土交通省では、建設現場において男女ともに働きやすい環境とするため、ワーク・ライフ・バランスを推進できる環境整備を進めてきたところです。
- 建設現場においても、女性技術者等に不評であったトイレについて、平成28年10月1日以降に入札手続きを開始する土木工事から「快適トイレ（女性も活用しやすいトイレ）」を原則化することとし、「快適トイレ」の標準仕様を決定しました。（平成28年8月4日記者発表）
- 上記の標準仕様を満たした「快適トイレ」の設置を行った工事において、『現場の声』とし実際に使用しての感想・意見等を含め事例集としてとりまとめました。
- 「快適トイレ」が、全国の自治体へ広まり、全ての建設現場の環境改善につながることを期待しています。
- また、レンタルが中心の建設現場の仮設トイレが「快適トイレ」に変わることで、災害時に避難所等に持ち込まれる仮設トイレも変わるといった副次的効果も期待しています。



快適トイレ設置事例 (東北地方整備局)

河川事業での設置事例

○現場の声

- ・とても綺麗でびっくりした。
 - ・スリッパに履き替えるトイレが初めてだったので、清潔感があり良かった。
 - ・更衣室にもなるので、着替えが出来て良かった。
- (全て女性の声)

全景



トイレの出入りが見えないように目隠し板を設置し、「女性専用」と判りやすいように表記をしている

※更衣室兼トイレのため、建物の中に トイレがあります。



便座クリーナー、小物置き



ゆったりとした便座まわり
暖房付便座、擬音スイッチ、臭い逆流防止機能付



土足厳禁・スリッパに履き替えるため
室内がきれいなので着替えも可能



ロッカー・洗面台

工事銘板への技術者名の刻銘

国土交通省では、コンクリート構造物の品質確保を目的として、構造物の設計基準の他、受注企業の監理技術者名等を銘板に記載している。

更に、建設工事に従事した技術者名を銘板に刻銘し、技術者の「やりがい」や「存在の可視化」など、「誇り」を示す取り組みを実施中。

<取組みの拡大>

- 銘板の設置をコンクリート構造物以外に法面工などに拡大
- 銘板に記載する技術者の対象を受注企業以外に、下請企業の専門技術者まで拡大
- 現行の発注工事単位から構造物又は事業単位などへの拡大を検討中

<検討事項>

1. 設置場所

目的として「技術者の可視化」を主眼に、従来の工事銘板として構造物への設置以外に、「道の駅」、「展望台」など多くの人の目に触れる場所を検討

2. 手法の検討

工事銘板以外に、様々な情報発信手法（ホームページやQRコード、SNSなど）の活用を検討

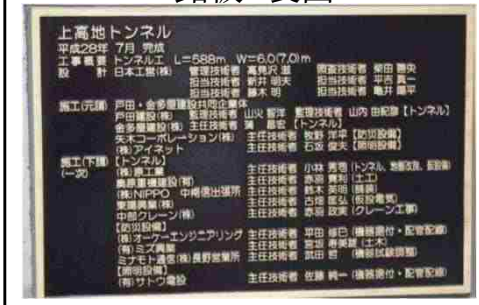
<参考：他機関の事例>

- 国土交通省**営繕部**では、優良工事等表彰の受賞工事を対象として、銘板に主任技術者及び職長以上の氏名を掲載し、設置している。
- **長野県**では、「担当した技術者の名前を刻もうプロジェクト」を実施し、銘板に事業概要や受注者等の会社名、技術者名を掲載し、設置している。
- **群馬県**では、技術者の功績をたたえ、やりがいと意欲の向上を図るため、大型構造物以外の工事にも、技術者名を記載し、設置している。

事例：長野県 上高地トンネル



銘板 裏面



工事関係者の銘板への記載（自治体の取組み）

群馬県

- 2017年10月3日、**群馬県**は、橋梁やトンネルなどの大型構造物に限り設置していた「**工事銘板**」について、道路改良工事や護岸工事などの**小規模工事**にまで**対象を拡大**することを発表。
- **従来の会社名だけではなく、技術者名についても記載**。例えば、県道では、工区ごとに設計者名、改良工事や舗装工事、安全施設設置工事の各施工者名、各社の監理技術者や主任技術者名を明記。さらに、構造物名のほか、長さや幅、道路区分、工期などの設計仕様も記載することで、維持管理にも活用。
- 工事銘板は群馬県建設業協会（青柳剛会長）が設置拡充プロジェクトとして、技術者名の表示などを各方面に求めてきたもの。構造物の建設に携わった技術者名を記載し、功績をたたえることで、**技術者のやりがいと意欲の向上を図るほか、次世代の若者が土木技術者を目指すきっかけになることも狙い**とする。

路線名	一般県道 ●●●●線 (○○工区)	構造物名等		
延長	364m	車線幅員 3.25m 歩道幅員 3.50m		
道路区分	第4種第1級(4車線)	設計速度 60km/h		
設計交通量	N5交通	設計CBR 8		
設計仕様等				
工期	自) 2015年5月 至) 2017年3月			
設計会社名	ぐんまコンサル(株)	管理技術者	群馬 太一郎	技術者名
改良工施工会社名	ぐんま工業(株)	主任技術者	赤城 一郎	
	〃	監理技術者	橋本 次郎	
	〃	監理技術者	妙義 太郎	
	〃	監理技術者	浅間 次郎	
舗装工施工会社名	△△工業(株)	主任技術者	群馬 次郎	
	〇〇建設(株)	主任技術者	浅間 次郎	
	□□工業(株)	主任技術者	赤城 四郎	
安全施設工施工会社名	◇△□(株)	主任技術者	橋本 三郎	
	(株) □□□	主任技術者	妙義 一郎	
	(株) ○○○	主任技術者	塩田 太郎	
発注機関名	群馬県 ○ ○ 土木事務所			

工事銘板のイメージ

出所:建設通信新聞HP

建設現場に従事する技術者の紹介

技術者スピリッツ

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に末永く使ってもらえるものを作るために、調査・設計の段階から多くの技術者が携わり、また工事現場でも技術者・技能者が一体となり、日々努力をしています。世界に一つだけの工事に、多方面から携わる技術者に光をあて、紹介していきます。

「喜ばれるものを作る」奮闘する技術者の魅力が伝われば幸いです。

国土交通省 関東地方整備局 ホームページより



技術情報 公共工事に関する共通仕様書や工事安全対策、新技術など様々な情報のご案内です。

技術者スピリッツ

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に末永く使ってもらえるものを作るために、調査・設計の段階から多くの技術者が携わり、また工事現場でも技術者・技能者が一体となり、日々努力をしています。世界に一つだけの工事に、多方面から携わる技術者に光をあて、紹介していきます。

「喜ばれるものを作る」奮闘する技術者の魅力が伝われば幸いです。



NEW

第236話

【自転車歩行者道整備で道路利用者の「安全」に貢献】

熊淵登(性) 山下輝光

10月～10月10日は、



第229話

三峯工業(性) 岡田核(左)
関口工業(性) 小林伸太郎(右)



第228話

初層興業(性) 井上拓也



第227話

古都建設(性) 須永光(左)
鳥取道人(右)



第226話

富士島建設(性) 清水幹斗



第225話

伊田テクノス(性) 中島大虎
翠根子



第224話

山村建設(性) 小山誠



第223話

小川工業(性) ドアン ウェルシア



第222話

東鉄工業(性) 中川食史

- 「地域インフラ」サポートプラン 関東
- 技術者スピリッツ
- 工事の安全対策
- 公共工事の品質確保
- 総合評価選札方式の適用ガイドライン(工事)
- 公共工事等のコスト削減
- 公共工事等の集算
- 道休日チャレンジサイト
- 簡易確認型の実施について
- i-Construction
- 工事請負契約における設計変更ガイドライン(設計変更、工事一時中止、設計監理)
- CALS/EO
- 新技術・技術開発
- 設計コンサルタント業務等

技術者
スピリッツ

自転車旅行者道整備で道路利用者の「安全」に貢献

作業前のミーティング

測量作業

データ整理

休日のドライブ

■私のスピリッツ

商業系の専門学校を卒業し、業界での知識が全くない状態で入社し4年目です。

入社後は、先輩方の丁寧な指導のおかげもあり、「測量士」の資格を取得することができました。

最新技術となるUAV、MMS、地上レーザースキャナを活用にも積極的に取り組み、これらの機材をより生かしていけるよう日々精進しています。

年々、後輩も増えてきたので、しっかりと後輩の指導にあたるよう責任を持って仕事をしたいです。

■休日の過ごし方

昨年購入した新車でのドライブや、家でゆっくり過ごしています。

国土交通省 関東地方整備局 ホームページより

TEC-FORCEとは

※TEC-FORCE (Technical Emergency Control FORCE) : 緊急災害対策派遣隊

- 大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設し、本年4月で10年を迎えた
- TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施
- 本省災害対策本部長等の指揮命令のもと、全国の地方整備局等の職員が活動 (9,663名の職員を予め指名 (H30.4.1現在))
- TEC-FORCEは「南海トラフ地震防災対策推進基本計画 (H26.3中央防災会議)」、「首都直下地震緊急対策推進基本計画 (H27.3閣議決定)」等に位置付けられている

活動内容

➤ 災害対策用ヘリコプターによる被災状況調査



【H27.9 関東・東北豪雨】
(茨城県常総市)



➤ 市町村へのリエゾン派遣



【H27.5 口永良部島の火山活動】
(鹿児島県屋久島町)

➤ 被災状況の把握



【H29.7 九州北部豪雨】
(福岡県東峰村)

➤ Ku-SAT※による監視体制確保



【H26.9 御嶽山の噴火】(長野県王滝村)
※Ku-SAT: 小型衛星画像伝送装置

➤ 自治体への技術的助言



【H28.4 熊本地震】
(熊本県庁)

➤ 排水ポンプ車による緊急排水



【H27.9 関東・東北豪雨】
(宮城県栗原市)

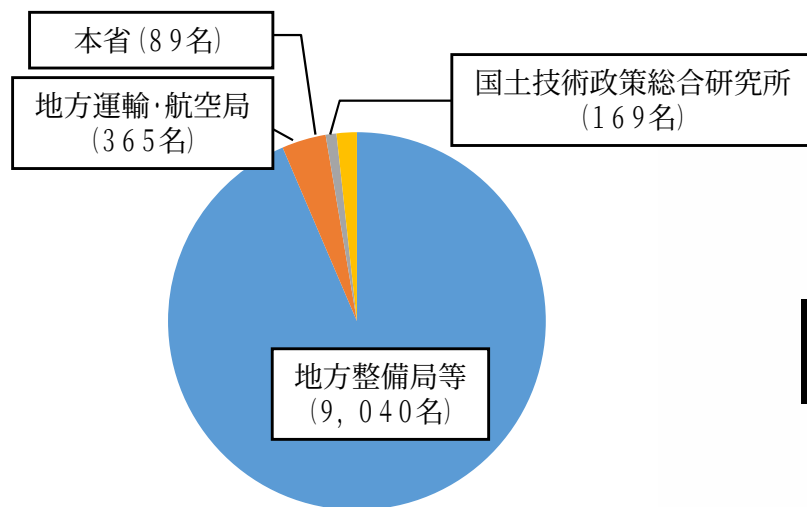
➤ 捜索活動への技術的助言



【H28.4 熊本地震】
(熊本県南阿蘇村)

TEC-FORCE隊員は全国の地方整備局を主体に指名しており災害の規模によっては全国から集結

※ほか、国土交通省本省、地方運輸局等、国土技術政策総合研究所、気象庁、国土地理院から構成されており、専門性を活かした調査、技術指導等による自治体支援を実施



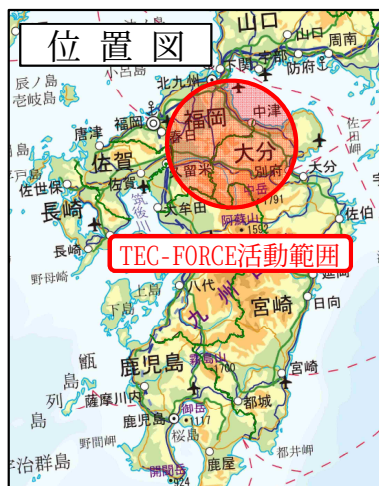
TEC-FORCE 登録隊員構成

※平成30年4月現在 **計9,663名**
(国土地理院、気象庁は事前指名がないため、グラフに含まれない。)



平成29年7月九州北部豪雨への派遣

- 九州、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国地方整備局、国土地理院から派遣されたTEC-FORCE (7/5～8/16 のべ4,095人・日) が河川・道路等の被害状況調査、道路啓開など、2県11市町村において活動。
- 8月8日までに福岡県、大分県の河川、道路等の約1,800箇所被害状況調査を実施。
- 被災自治体へ復旧工法等を企画・提案、激甚災害指定の見込み公表の早期化に貢献。
- 国道211号において4.5kmを道路啓開を実施。7月14日13時に道路啓開が完了、全線で緊急車両の通行を確保。
- 東峰村内の県道52号について、福岡県からの要請を受け道路啓開を実施。国担当区間の道路啓開が8月8日に完了。
- 二次災害防止に向け、土砂災害危険箇所の緊急点検等 約1,300箇所 (21日現地調査完了) のうち約570箇所を支援。



自治体所管施設の被害状況調査



河川・道路の被害状況調査(東峰村)



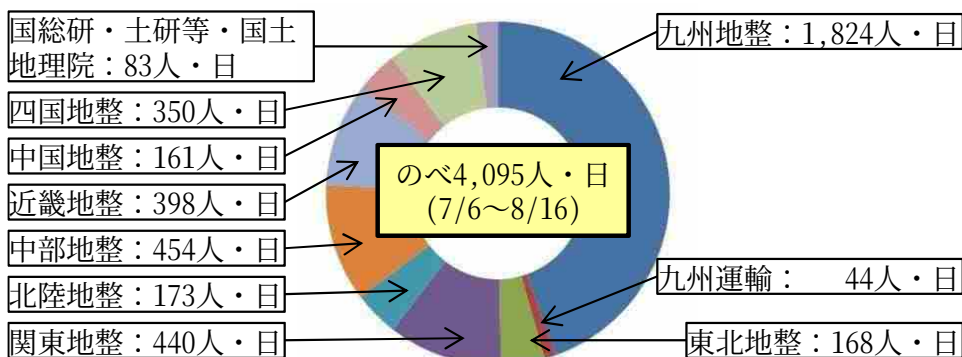
被害状況を報告(東峰村長)

ドローンによる被害状況調査



ドローンによる流木調査(朝倉市)

▼九州地方への派遣人数(のべ人数)



緊急車両の通行確保のための道路啓開



国道211号の道路啓開(東峰村)

土砂災害の被害状況調査



斜面崩壊箇所の調査(日田市)



土木技術者の担い手確保に向けた取組み

平成30年11月20日

(一社) 日本建設業連合会

土木技術者の年齢構成実態調査

- 調査時期：平成30年2月
- 調査対象：公共工事委員会社（43社）

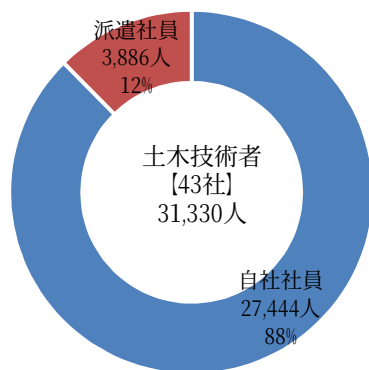


図1 自社社員と派遣社員の人数・割合

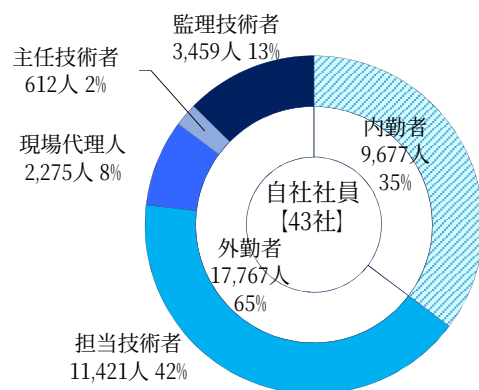


図2 自社社員の内訳



注) 5年前の調査で調査対象となっている19社の集計により比較。

図3 土木技術者（自社社員）の年齢構成、外勤者比率等

若手技術者の育成のあり方

■10年先を見据えた、若手技術者(35歳位まで)の育成のあり方について、若手育成に成果を上げている現場所長の主な意見

《論点1》現在の入社10年以下の若手技術者の能力は、10年前の同世代の技術者と比べて技術の伝承がスムーズに行われていないことにより、**将来の監理技術者としての現場力が不足**していると感じるが、上手く育成できている現場ではどのような取組みがなされているか。

《論点2》今後、新技術の導入や施工のICT化による「生産性向上」と「働き方改革」などの流れの中で、監理技術者等の土木現場のマネージャーに求められる**資質**とはどのようなものか。またどのように対応すべきか。

新しい技術の活用を含めた、トータルマネジメント能力

そのための

- ・コミュニケーション能力
- ・仕事を任せ、自分で考えさせる（やりがい・モチベーションアップ）
- ・従来と同様に現場でのOJTを通じた現場力の会得

□ 所長から若手職員まで、よいコミュニケーション

- ・現場所長が自ら若手職員とコミュニケーションをとる
- ・毎日のミーティングで業務についての問題点や悩みを聞き指導

・引き継ぎノートの活用により、職場内コミュニケーションアップ

□ 仕事を任せ、自分で考えさせる（やりがい・モチベーションアップ）

- ・失敗を恐れず仕事を任せ、各段階でフォロー、モチベーションアップ

・常に自分の責任、自分の考えで工事を進める覚悟を植え付ける

□ 効果的なOJT

- ・OBのベテラン技術者と若手職員をペアリングしてOJT
- ・様々な工種の現場を比較的短期間で異動して多くの工種を経験

・無理のない業務分担（「利益を削る」ことで職員の負担を軽減）

出前講座の開設

- 土木工学系の大学生、18大学（関東甲信越地区）を対象に、建設業界の実状とともに、**シビルエンジニアの仕事、ゼネコンの魅力**を伝える「出前講座」を実施。
- 出前講座は、平成25年度から継続実施しており、今年で6年目を迎える。土木工事技術委員会部会委員が1大学2～3名体制で分担し、プレゼンテーションによる説明、その後、私共の経験や業務の現状の紹介を行い、学生との意見交換も実施している。
- 主な目的としては、シビルエンジニアを目指して入学した学生に、その仕事を正しく理解し、**将来に亘って**、“この仕事、この会社で働いて、間違いはなかった、よかった”と感じられるよう、その人に相応しい仕事に就いていただくお手伝いを行うことである。



本日の内容

人々のくらしと業界

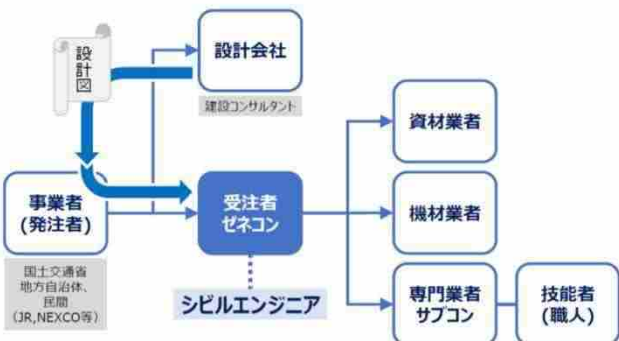
企業人

- 1 はじめに
- 2 土木の役割
- 3 これからの土木
- 4 ゼネコンとは
- 5 シビルエンジニアの仕事
- 6 働き方の進化

私たちが水を使えるよ



工事にかかわる人々



シビルエンジニア ≠ 技能者

《出前講座 昨年度の実績》

聴講者数 1,155名(内、女性145名)

東洋大学	理工学部
東京都市大学	工学部
群馬大学	理工学部
日本大学	理工学部
千葉工業大学	工学部
埼玉大学	工学部
芝浦工業大学	工学部
東海大学	工学部
横浜国立大学	理工学部
長岡技術科学大学	環境社会基盤工学課程
法政大学	工学部
ものづくり大学	建設学科
足利工業大学	工学部
東京理科大学	理工学部
東京農業大学	地域環境科学部
関東学院大学	理工学部
日本大学	生産工学部
東京農工大学	農学部

現場見学会の開催

■一般市民をはじめオピニオンリーダー、学生、マスコミ等、多くの方々を対象に、市民現場見学会を開催。
平成14年11月から「100万人の市民現場見学会」としてスタートしており、延べ参加者は、平成17年11月に100万人、22年11月に200万人、29年11月に300万人を達成。

2本柱による 見学会

○土木系の学生を中心に、平成25年から「発注者と連携した現場見学会」をスタート。

- ・国土交通省地方整備局、高速道路会社、地方自治体等の公共発注機関と日建連の共催により公共土木工事現場にて実施。
- ・土木系の大学、工業高校、工業高等専門学校 of 学生など、就職を意識し始めた若い世代に向けた働きかけの場となっている。



○女性活躍推進に向けて、平成27年から「けんせつ小町活躍現場見学会」をスタート。

- ・建設業を目指す女性の裾野を広げるため、進路選択前の女子小中学生および保護者に建設業の魅力を伝えるため、女子小中学生とその保護者を対象に実施
- ・同見学会では、工事概要説明、現場見学、見学後の質疑応答のほか、けんせつ小町をはじめ職人と一緒に、鉄筋の結束やコンクリートづくり、塗装、測量など、現場作業の「お仕事体験」も実施。



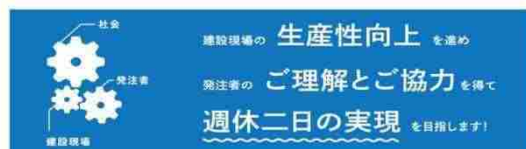
建設技術展等への出展【各支部における活動】

■各支部では国土交通省地方整備局等と連携して、建設技術展など各種の出展を通じて、技術者をはじめとする担い手の確保に努めている。その一例として、関東支部では、関東地方整備局関東技術事務所構内にある「建設技術展示館」に関東支部が出展。

- 「建設技術展示館」(国土交通省関東地方整備局関東技術事務所構内)
 - ・平成11年度から関東技術事務所内に常設で開設されており、官公庁や民間企業の建設技術者から、市民、学生までを対象として、建設技術の基礎知識から新技術まで習得できるよう展示。
 - ・現在、建設業界の「担い手確保」と「生産性向上(i-construction)」への取り組みについて48者が展示。

建設業の週休二日実現に向けた取り組み

他産業に比べ労働時間が長く、休日が少ない建設業。
将来を担う若者の入職には、他産業と同程度の休日を確保することが急務です。
そこで日建連は「建設業の週休二日実現」に向けて、様々な取り組みを行っています。



統一土曜閉所

日建連会員企業は、各社の建設現場において、2018年4月から統一土曜閉所運動を展開します。
2018年度は毎月第2土曜日、2019年度は毎月第2・第4土曜日を一斉閉所日とし、2021年度末を目標に建設現場の週休二日(全土日閉所)を推進します。

週休二日実現のスケジュール		
全建設現場で週休二日を実現！		
2017年12月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2020年3月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2022年3月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
「週休二日実現行動計画」スタート		
2020年3月までに全建設現場で4週8閉所の達成		
2022年3月までに全建設現場で週休二日(4週8閉所)の達成		

週休二日推進ロゴマーク作成

“健やかさ”を表すブルーのヘルメットでロゴ化。
左右2本の帯でアテンションをつくりつつ、週休二日を実現して元気な現場を目指していくマークにしました。



日建連関東支部と関係行政機関等との災害時における包括協定を締結

協定締結

協定締結日 平成30年3月28日
協定締結者
関東地方整備局長
茨城県知事、栃木県知事、群馬県知事、埼玉県知事、千葉県知事、東京都知事、神奈川県知事、山梨県知事、長野県知事、さいたま市長、千葉市長、横浜市長、川崎市長、相模原市長
独立行政法人水資源機構理事長、東日本高速道路株式会社関東支社長
中日本高速道路株式会社東京支社長、中日本高速道路株式会社八王子支社長
首都高速道路株式会社代表取締役社長、一般社団法人日本建設業連合会関東支部長

特徴

大規模な広域災害が発生した場合は、その被害は各都県をまたがる甚大なものになることが想定されます。その復旧、復興にあたっては、技術力、資機材の調達力などに優れ、全国的なネットワークを有する大手建設会社の協力が不可欠となります。
これまで各機関がそれぞれ大手建設会社の出動を要請していましたが、このような大規模な広域災害時には関東地方整備局が各機関との調整役となり、円滑に対応できるように平成30年3月28日付けで新しく協定を締結しました。



応急復旧工事の状況(常総市鬼怒川堤防)

関東地方整備局によって出勤要請会社に決定した支部会員2社は、決壊当日から現地に入り、24時間体制で応急復旧工事に精力的に取り組み、2日間で応急復旧工事が完了した。



平成27年9月常総市堤防で発生した堤防決壊の復旧作業



完了した応急復旧工事現場

けんせつ小町活躍推進に向けた取り組み

女性が活躍することで現場環境の改善や建設業界の意識革命が進むことが期待されています。日建連は、もっと女性が活躍できる建設業を目指して、様々な活動を展開しています。

けんせつ小町活躍現場見学会を開催

女子小中学生とその保護者を対象として、毎年夏休みシーズンに開催しています。2017年は関東圏を中心に北海道、青森、大阪、兵庫、奈良、福岡、長崎など、全国15カ所、けんせつ小町たちが活躍する現場を案内しました。



現場環境整備マニュアルを策定

建設現場を女性たちが働きやすい環境にするための指針として「けんせつ小町」が働きやすい現場環境整備マニュアルとマニュアルの達成状況を「見える化」するチェックリストを策定しています。

けんせつ小町フォーラムを開催

2014年より、毎年各地で、女性社員およびその上司の意識革命を促し、女性社員の定着や交流を図ることを目的とした内容でフォーラムを開催しています。



建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会 提出資料

平成30年11月20日

一般社団法人 全国建設業協会

災害対応状況

～平成30年7月豪雨災害



- 平成30年7月豪雨災害により西日本地域を中心に各地で土砂災害、河川の氾濫による浸水被害が発生。
- 各都道府県建設業協会の会員企業(地元建設企業)は、**公共機関との災害協定に基づき、土石流により道路や河川内、家屋内に流出した**土砂・がれきの撤去および運搬、災害地域への進入路整備、土留め応急対応、ポンプ車・散水車の出動等の災害復旧支援活動を実施した。**
- また、各地方整備局等からの要請を受け、被災地以外から作業員や資機材(土のう袋、大型土のう袋詰機、ポンプ車、照明車等)の広域支援を実施した。

(資料提供：一般社団法人 岡山県建設業協会 一般社団法人 広島県建設工業協会 一般社団法人 愛媛県建設業協会)



岡山県建設業協会による災害対応出動実績

対応期間	平成30年7月6日～9月25日 ※災害復旧支援活動は継続中
会員企業 (実数)	72社
出動作業人員 (延べ)	24, 000名
出動機械等台数(延べ)	13, 000台



広島県建設工業協会による災害対応出動実績

対応期間	平成30年7月6日～8月31日 ※災害復旧支援活動は継続中
会員企業 (実数)	72社
出動作業人員 (延べ)	20, 200名
出動機械等台数(延べ)	12, 275台



愛媛県建設業協会による災害対応出動実績
※集計作業終了分のみ掲載

対応期間	平成30年7月6日～8月31日 ※災害復旧支援活動は継続中
会員企業 (実数)	219社
出動作業人員 (延べ)	1, 574名
出動機械等台数(延べ)	920台

- 平成30年9月に北海道胆振東部を中心に震度7の地震災害が発生。
- 北海道建設業協会の会員企業（地元建設企業）は、公共機関との災害協定に基づき、土砂・がれきの撤去および運搬、災害地域への進入路整備、給水車の出動等の災害復旧支援活動を実施した。
- また、各地方整備局等からの要請を受け、被災地以外から照明車及び重機オペレーター派遣の広域支援を実施した。

（資料提供：一般社団法人 室蘭建設業協会）



室蘭建設業協会による災害対応出動実績

対応期間	平成30年9月6日～10月30日 ※災害復旧支援活動は継続中
会員企業（実数）	41社
出動機械等台数(延べ)	2,066台

統一ベストの提供

○全建では、災害対応など地域における建設業協会の活動を広くPRするため、各都道府県協会に「統一ベスト」を提供（45,000着）しております。



地域建設業のまちづくり等の取組 ～建設業社会貢献活動

「菊で一杯運動」

【目的】

- ・協会や公共施設、会員が施工中の建設現場、近隣の家や商店などに厳しい冬を迎える前に、玉菊の花を飾り、一時の安らぎの時間を大勢の人のためにつくること。
- ・皆で一生懸命つくった玉菊で花見をし、一杯を交わし、青年部（H30からは協会員全員）の交流と親睦を深めること。
- ・こうした取組を通して、地域住民の皆さまに、建設業に対する理解を 深めていただくこと。

【活動内容】

- ・玉菊づくりは、H25から支部活動として開始。支部協会のとなりの800㎡の耕地放棄地を借りて、もともと玉菊を育てていた支部長自らノウハウを伝授し、全員で、取引先や地域の人から助けを得ながら、建設魂で一致団結して取り組む。
- ・出来上がった玉菊は、県下の学校や駅、地元の商店、役場、公共施設などに配り、公共施設に配った数は、35ヶ所303鉢。
- ・活動は好評で、取組が新聞に掲載され、警察署からも感謝状が贈呈された。

【成果】

- ・会員のふれあいと団結。目的達成のために、一致団結する大切さ。コミュニケーション。作業のあとの「一杯」！
- ・地域住民の皆さまからの感謝や喜びの声。参加してくれた人から、建設業への思いも耳に。建設業への理解促進！

（長野県建設業協会 南佐久支部）



地域建設業のまちづくり等の取組 ～建設業社会貢献活動

「大・仙・郷からの魅力発信『毎日が誇りまみれ』であるために」

【きっかけ】

- ・数年前のある会員企業からの一言。
「新卒者を採用したいから就職説明会に参加する。会社のパンフレットはあるが、建設業界そのものをPRするパンフレットは協会で作っていないのか？」

【事業】

- ・秋田県『建設業担い手確保育成支援事業』の一つである「建設業魅力発信事業」に応募。（平成27年度）
- ・協会青年部が、地方協会で特に活発な広報活動を展開している群馬県・宮城県・東京都の各建設業協会へ企画・構成等を学ぶために視察し、各建設業協会の広報周知活動、成果品を参考に、地元の高校生向けに地域の建設業をわかりやすく紹介したガイドブック・ポスター・リーフレットの3点を製作することに決定。

【目的（想い）】

- ① 建設業に興味を持ってもらう
- ② 地域に人を残す

【活動内容】

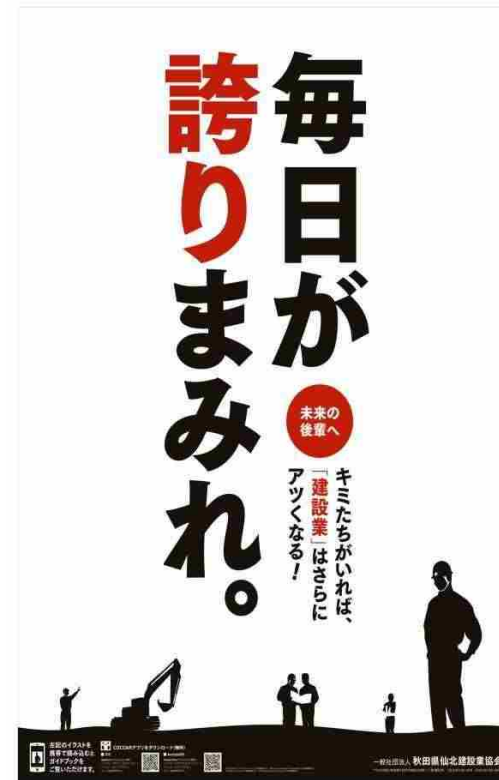
- ・テーマである「毎日が誇りまみれ。」のキャッチフレーズと図柄を商標登録。
- ・平成28年度には第2弾として「俺たちの仕事が道になる。」を製作。
- ・平成29年度は3年目の集大成としてオリジナル大学ノートと専用HPを立ち上げ。（大学ノートに専用HPに誘導するようQRコードを掲載）

【今後】

- ・平成30年11月に協会女性部会『HANAMARU』を発足。女性活躍目線での魅力発信や業界団体としての企業説明会への参加、新たなプロモーション動画作成。
- ・入職後5年以内の若年者向けフォローアップ研修の開催。

（秋田県仙北建設業協会）

※管轄地域は、大仙市・仙北市・美郷町



地域建設業のまちづくり等の取組 ～建設業社会貢献活動

「キャンプ場の再生による地域活性化」

【きっかけ】

- ・掛川市の最北端にある明ヶ島キャンプ場は、過疎化や平成25年の台風被害で経営が困難となり、平成26年に閉鎖。手付かずのまま放置され、不法侵入者や不法投棄も増えるなど、地域にとって悩ましい場所となっていた。
- ・このキャンプ場を何とかしたい、自分たちが生まれ育った地域の良さや自然の大切さを人々に伝えたいという思いから、地元建設会社が再整備と管理運営を引き受けた。

【活動内容】

- ・平成27年に掛川市及び地権者と無償貸与による管理人契約を締結、敷地内と周辺道路の除草、伐採及びゴミ処分に着手。吊り橋、コテージ、トイレの老朽化部分を修繕し、管理棟については内装を全面改修した。
- ・アウトドアの専門家の協力を得て、キャンプ場の運営方針を検討し、「STUDY TO BE QUIET 穏やかなる事を学ぶ」をテーマに設定し、再整備に取り掛かる。
- ・平成28年に掛川産の間伐材を用いたウッドデッキサイト2か所の増設、ドッグランの整備など、利用者がゆったりと時間を過ごせる空間を整備した。

【成果】

- ・平成29年4月に正式オープンし、新聞やテレビ、アウトドア雑誌で取り上げられたこともあって、5月の大型連休は県内外からの予約でキャンセル待ちの状態となった。
- ・また、従業員が頻繁に出入りするため、不法侵入者や不法投棄もなくなり、地域の活性化に繋がった。

(株式会社 山田)

(整備前)



(整備後)



(整備前)



(整備後)



(ウッドデッキの設置)



(資料提供：株式会社山田)

建設現場で働く人々の 誇り・魅力・やりがい検討委員会

平成30年11月20日 於 霞が関合同庁舎3号館（国土交通省）



全国建設業協同組合連合会



一般社団法人

群馬県建設業協会

The Associated General Contractors of GUNMA

行動指針～(一社)群馬県建設業協会

「やりがい」「報い」「見通し」をキーワードとする行動指針の流れ／2016年度・2017年度・2018年度

【行動指針2016】「入ってみたい建設業」から「入ってよかった建設業」へ

「やりがい」…人材確保・育成の取組み
「報い」…生産性向上への取組み
「見通し」…限界工事量を意識した取組み

「入ってみたい建設業」から「入ってよかった建設業」へ

目標達成に取り組むための考え方

「新・3本の矢」

「やりがい」

人材確保・育成の取組み

- 高校生等を対象とした現場実習（インターンシップ）
- 産学官連携会議
- 高校生及びその保護者を対象とした説明会
- 新入社員研修会・新入社員アンケート調査
- 地域連携ネットワーク構築
- 建設産業人材確保・育成に関する協議会
- 県内建設系職業訓練ハンドブック（仮称）
- マスコットキャラクター「くんけんくん」
- 女性目線からの職場環境改善（5S）（整理整頓、トイレの清掃、マナーアップ等）
- 処遇改善
- 技術者要件の緩和

魅力あふれる建設業の実現

生産性向上への取組み

- 直轄工事の採算性に関するアンケート調査
- 緊急アンケート調査（最速型）
- 施工技術発表会
- 三者技術協議会
- きめ細かい意見交換会
- 平準化
- 週休2日制
- ICT-Constructionの対応
- 情報化施工、高度化施工、省力化施工

限界工事量を意識した取組み

- 事業量確保のための要望・提言活動
- 災害警戒活動等
- 新・災害情報共有システム「くんけん見張るくん」
- Twitter発信
- 流通在庫削減
- 除雪業務体制の確立
- 限界度MAPの作成
- 道路除雪業務等に関するアンケート調査

「報い」

「見通し」

行動指針2016

一般社団法人 群馬県建設業協会
〒370-0001 群馬県高崎市高松町1-1-1
TEL 027-222-1111 FAX 027-222-1112
E-MAIL kunkenkun@gunma-kenkei.or.jp

【行動指針2017】ワクワクする建設業

「やりがい」…銘板設置拡充活動の展開
「報い」…働き方改革に的を絞った調査提言活動
「見通し」…受発注者間での「限界工事量の理念」の共有促進

ワクワクする建設業

「入ってみたい建設業」から「入ってよかった建設業」へ

「新・3本の矢」

「やりがい」 ワクワクする職場

- 銘板設置拡充活動の展開
- 許認可制度の見直し提言
- 経営を含めた企業評価制度の検証
- 産学官連携会議
- 高校生等を対象とした現場実習
- 高校生及びその保護者を対象とした説明会
- 新入社員研修会・新入社員アンケート調査
- 建設産業人材確保・育成に関する協議会
- 「群馬県建設関連企業の就職情報」の改訂
- マスコットキャラクター「くんけんくん」
- 女性目線からの職場環境改善

魅力あふれる建設業の実現

ワクワクする仕事

- 働き方改革（週休2日制）に的を絞った調査提言活動
- 適正な工期設定・生産性向上の促進
- 賃金体系の見直し・時間外労働への対応…etc
- 直轄工事の採算性に関するアンケート調査
- 景況感などのアンケート調査
- 三者技術協議会
- 地域ネットワークの中からICT施工技術者を育成（利根沼田テクノアカデミーとの連携）
- 建設従事者就業状況等に関する調査

ワクワクする未来

- 受発注者間での「限界工事量の理念」の共有促進
- 事業量確保のための要望・提言活動
- 災害警戒活動等
- 新・災害情報共有システム「くんけん見張るくん」
- Twitter発信
- 流通在庫削減
- 除雪業務体制の確立
- 道路除雪業務等に関するアンケート調査

「報い」

「見通し」

行動指針2017

一般社団法人 群馬県建設業協会
〒370-0001 群馬県高崎市高松町1-1-1
TEL 027-222-1111 FAX 027-222-1112
E-MAIL kunkenkun@gunma-kenkei.or.jp

【行動指針2018】3アップ活動の展開

「やりがい」…環境すみずみパトロールのステップアップ
「報い」…技術者のスキルアップ
「見通し」…地域を守る建設業の事業量アップ

「入ってみたい建設業」から「入ってよかった建設業」へ

「3アップ活動の展開」

「やりがい」

■環境すみずみパトロールのステップアップ

- 女性の視点で快適職場（GKG活動）
- 銘板設置拡充活動の展開
- 許認可制度の見直し提言
- 経営を含めた企業評価制度の検証
- 産学官連携会議
- 高校生等を対象とした現場実習
- 高校生及びその保護者を対象とした説明会
- 新入社員研修会・新入社員アンケート調査
- 建設産業人材確保・育成に関する協議会
- 「群馬県建設関連企業の就職情報」の改訂
- マスコットキャラクター「くんけんくん」

魅力あふれる建設業の実現

■技術者のスキルアップ

- リカレント教育の実施（3～5年次技術者教育）
- 地域ネットワークの中からICT施工研修（利根沼田テクノアカデミーとの連携）
- 「建設業働き方改革推進プログラム」対応
- 直轄工事の採算性に関するアンケート調査
- 景況感などのアンケート調査
- 施工技術発表会
- 三者技術協議会

■地域を守る建設業の事業量アップ

- 「限界工事量」の理念の共有促進
- 「限界工事量診断ナビ」の作成
- 事業量確保のための要望・提言活動
- 災害警戒活動等
- 新・災害情報共有システム「くんけん見張るくん」
- Twitter発信
- 流通在庫削減
- 除雪業務体制の確立
- 道路除雪業務等に関するアンケート調査

「報い」

「見通し」

行動指針2018

一般社団法人 群馬県建設業協会
〒370-0001 群馬県高崎市高松町1-1-1
TEL 027-222-1111 FAX 027-222-1112
E-MAIL kunkenkun@gunma-kenkei.or.jp

銘板設置拡充プロジェクト～(一社)群馬県建設業協会 (H29)

「やりがい」を掘り起こす本気度／H29.12.21 日刊建設工業新聞 特別寄稿

平成29年10月現在の群馬県の建設業の有効求人倍率は4.83倍、その次に高いのが介護関係で3.43倍と運輸業界の2.71倍が続く。県全体で1.61倍だから3倍もの求人倍率になっている。仕事を探している人に対して何人分の求人があるかを表す数字だが、この数字に対して様々な読み取り方が出来る。

人手不足業種の代表格ともいわれる建設業、素直に「景気回復と人手不足」と読み取ればいいのだろうが、本紙の6月29日1面「求人倍率高止まり～深刻なのは求職者数激減」の記事の指摘を業界として正面から受け止める必要もありそうだ。求人倍率よりも求職者が激減している事実は重い。「建設躯体工事」職種の求職者の落ち込みようを例に挙げているが、出来るところから総動員、業界全体で魅力度アップ・求職者増加などの取り組みに本気度を出すことが求められている。

業界の魅力度を支えるのには、処遇改善はもちろん、**モノづくりへと向かう働く人たちの「やりがい」をしっかりと前面に押し出していくことだ**。しかも分かりやすくなければならない。「やりがい」が多ければ多いほど魅力ある職場ということになるだろうが、**形にすることが出来れば効果は倍増する**。技術職員の立場でどういったときに「やりがい」を感じるか、どう「やりがい」を持ち続けるか、新年度早々4月の現場パトロールでのやり取りが参考になる。「あの擁壁の隅に銘板が。銘板の中に名前が刻まれています。今までで2つ、もう1つは国道のボックスカルバートの工事ですが、子供に見せに行きました。あといくつ付けられるかですが、後輩のH君はまだひとつもない。今やっている工事でも河川工事だから無理だそうです」と説明する土木の技術職員、これこそ技術者としての「形になったやりがい」そのもののことを言っている。

重要構造物に限定された銘板に技術者がそんな思い入れがあったことに驚かされる。今では将来の維持補修の履歴のために施工会社名と一緒に銘板が付いている。これからは、もう少し拡げて**「品質の向上」と「やりがいの向上」を加えた銘板にすれば違った形の銘板になりそう**だ。立ち上げたのは、「銘板設置拡充プロジェクト」。早速アンケート調査にとりかかった。調査結果のデータが新たな形の銘板設置のための推進力になる。今回の調査は、ひとりでも多くの技術者の意見が反映されなければならない。技術者に直接のアンケート調査は初めてだったが、**会員企業から1,091人も技術者が回答した**。それだけ取り組みやすいテーマといえる。「技術者の責任感が増し、もっといいモノをつくらうという意欲につながる」が662人、「やりがいの向上」が489人などと**技術者名の入った銘板の拡充を求める意見が大勢だった**。

10月3日、群馬県では「銘板設置拡充プロジェクト」に呼応して具体的な形を発表した。かなり幅広く、小規模の工事にまで技術者名の入った銘板を設置することになった。12月には、設計仕様や携わった会社名に技術者名が記載された銘板が県道の道路改良工事の完成とともに設置された。国土交通省関東地方整備局も地域インフラサポートプラン2017に記載された。

「元請、下請けを問わず業界全体で出来るところから始めることです。人材確保育成どころか誰も来なければどうしようもない」と意見交換会の席上で最近の深刻な雇用情勢を語っていたのは利根沼田テクノアカデミーの桑原俊彦校長、全国を飛び回って感じた危機感が言わせている。どんな仕事にも「やりがい」はある。そんな中にも**モノづくりとしての建設業、他の産業にはない「形としてのやりがい」がある**。求職者を増やそうとする業界の本気度、「やりがい」をどれだけ掘り起こせるかにかかっている。



銘板設置拡充プロジェクト～(一社)群馬県建設業協会 (H29)

銘板設置拡充プロジェクトに関するアンケート調査結果より

問1：技術者としてどのようなメリットが考えられますか（5つまで選択）

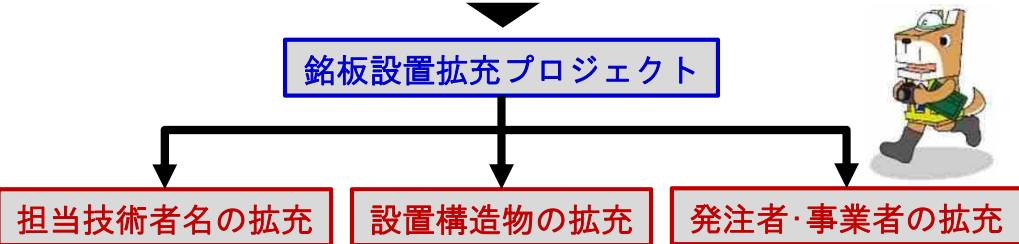
①	技術者の責任感が増し、もっといいものを作ろうという意欲につながる	662人
②	現場のモチベーション、やりがいの向上につながる	489人
③	技術者の責任が明確になり、建設業への信頼度が高まる	488人
④	構造物等に自分の名前が残ることがうれしい	471人
⑤	家族に誇れる・自分の仕事を理解してもらえる	412人
⑥	技術者同士の切磋琢磨により、技術力の向上につながる	316人
⑦	次代を担う若い職員の励みになる	294人
⑧	県民の建設業、構造物等への関心が高まる	248人
⑨	入職が期待される建設系高校生、若者等に将来の姿を具体的に示せる	219人
⑩	表彰状をもらうより銘板設置の方がうれしい	130人
⑪	その他 ☐ 竣工年月日から年代歴史を知ることができる ☐ 人生の足跡、記念になる ☐ 技術者として生きてきた証が残るのがうれしい …etc	66人

調査日：平成29年5月26日～6月7日 調査対象：会員企業の土木技術者および建築技術者
回答数：1,091名（土木技術者838名、建築技術者236名、その他17名）

問2：どのような問題点が残ると思いますか（2つまで選択）

①	銘板の見やすい場所への設置等、見せ方の工夫が重要	564人
②	その分のコスト増、設置の手間が心配	385人
③	銘板サイズ・仕様を検討する必要がある	370人
④	銘板の存在を県民にPRしていくことが必要	319人
⑤	特になし	111人
⑥	その他 ☐ 劣化や剥離防止等の管理が心配 ☐ 内容を簡素にし、大きな文字で道路歩道から（可能な限り）見える所に設置して欲しい ☐ 盗難対策が必要 ☐ 橋梁下部など埋まってしまう工事はどうするか ☐ 施工および設計的（デザインの）に理解が得られるか心配 ☐ 仕上りが悪かった場合、名前が残ることに抵抗がある …etc	50人

今までの銘板は、将来のメンテナンスを目的として限定して設置されていたが、「より良いものづくり」や「やりがい向上」につながるための技術者名を記した銘板設置拡充への期待が大きい。



群馬県 大型構造物以外にも工事銘板設置へ

群馬県土木整備部は、全国に先駆け、大型構造物以外にも工事に携わった技術者の名を記載した「工事銘板」の設置を開始する。小規模工事でも銘板が設置されることで、中小規模の施工業者の技術者名も記載されることになり、県内の中小建設業者にとっては大きな励みになりそうだ。

工事銘板は、これまで橋梁やトンネルなど大型構造物に限って設置していたが、今後は小規模な道路改良工事や護岸工事でも設置することにした。従来は会社名を銘板に記載していたが、今後は会社名と技術者名を記載する。

銘板の目的は、技術者の功績をたたえ、やりがいと意欲の向上を図ること。次代を担う若者たちが土木施設に設置された工事銘板を見ることで土木技術者を目指すきっかけになることも期待している。

銘板には設計仕様など、将来の補修など構造物の維持管理にも役立つようする。



銘板には、設計仕様、技術者名、発注者・事業者名などが記載される。

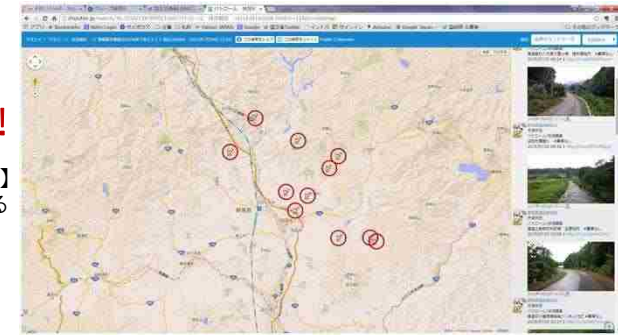
「ぐんケン見張るくん」の反響が「やりがい」へ ～群馬県建設業協会Twitter

「ぐんケン見張るくん」運用状況

- フォロワー数 3,737人 (H30. 11. 12 現在)
- 反響の大きい投稿では1件で1万人以上が閲覧 (H28. 1月 大雪時)
- 前橋市と高崎市の公式ツイッターと連動
- 協会Twitterも市町村の公式Twitterに有用な情報をリツイート
- 「ちずツイ」などの利用で、マッピングされた情報としても閲覧可能

確度の高い災害情報をSNSで発信、
「地域の建設業の役割」をより確実に！

【「ちずツイ」によるTwitter表示】
※「ちずツイ」は株式会社NAPZAKによる
無料のwebサイト



災害情報のTwitter発信

平成30年1月4日発生 国道120号線雪崩災害

災害
パトロール/状況報告
国道120号 片品村大庫付近
法面から大量の雪が雪崩状に落ちてきて通行
止状態です。
標識等に従って迂回をお願いします。#
路面状況
2018/01/04 11:31 1



群馬県建設業協会
@gunken000

災害
作業中
片品村 須賀川～菅沼 大庫付近の雪崩の
現場復旧のため、大型土嚢（流通在庫備
蓄品）を製作しています。
2018/01/05 11:29 1



大雨や台風による各地の災害情報

災害
作業終了
国道254 下仁田町南野牧 路面土砂流出
作業終了
2018/07/10 19:29 1



災害
作業中
南牧村羽沢 下仁田川田線
南牧村民俗資料館 西側
路肩崩落 2m以上通行不可 #南牧村災害
2018/08/09 13:41 2



群馬県建設業協会
@gunken000

災害
パトロール/状況報告
甘楽町秋畑 富岡神流線
土砂崩れにより通行止め
2018/08/07 07:15 1



倒木
作業開始
前橋赤城線 倒木撤去
2018/09/04 21:32 1
●コメントも歓迎



協会Twitterへの反響

群馬県内で車を運転せざるを得ない方へ、個人的にオススメしたいアカウント
(^o^)
群馬県内の色んな地域の路面状況、除雪状況、災害状況などをツイートしてくれ
ているのでとても助かります。ご参考までに(^o^)

徹夜での作業、お疲れ様です。総合病院は勿論ですが、365日やっている介護施
設の周辺道路の除雪、凍結防止剤散布も必須です。仕事を休めない看護師や介護
士さん、保育士さんのためよろしくお願いします。頑張ってください。

うわあ、見回り、お疲れ様です🎵
主人が高崎方面にいて。帰りが20時くらいだから、お天気の詳細情報が把握でき
て、とんでもない有難いでございますう〜🎵
m(_)_m (^o^)/

群馬県建設業協会【@gunken000】さんのツイートにはいつも助けられてる。
仕事とはいえ頭がさがります🙄
いつもありがとうございます。

作業ありがとうございます。明日、子供達と湯釜に行こうと思っていましたが、
通行止との事で落胆していました。復旧作業完了は本当にありがとうございます。
もっとも、台風5号の影響で明日は自宅でおとなしくする予定です。後日の
楽しみを繋いで頂いた事に感謝いたします。

@gunken000 お疲れ様です。除雪、パトロール本当にありがとうございます！
前回の雪のときもたくさんツイートしていただいて、状況がわかってとても安心
しました。大変だと思いますがどうかお怪我などないようがんばってください！

本当に深夜作業ありがとうございます！
すごく助かります！

県内の路面状況を教えてくれる群馬県建設
業協会さんのツイート、いつも参考にさせ
ていただいています。県内各所を飛び回る
デリジェイスタッフにとってありがたい存
在！ご安全に!!

グンケン君ありがとう(๑≡≡)🙄
通勤路なので助かります。
早く出るか迂回するしかないですな(͡° ͜°)

自信と誇りを着る～全建協連ユニフォームデザインプロジェクト (H29)

プロジェクトの目的

誰もが着たくなるユニフォームで、業界イメージを刷新！

- 作業着で工事現場をカッコよくプロデュース
- 作業着でも電車に乗れる・街を歩ける
- ファッションから建設業への理解促進
- 企業のイメージアップ
- 社員のモチベーションアップ
- 工事現場での視認性向上
- リクルートの有効なツール

東京モード学園とのタッグ

全建協連が掲げたプロジェクトの目的と、東京モード学園が取り組むテーマ「産業界との連携」のマッチングにより、授業の一環としてデザインに取り組むことが決定。最終的には497点（メンズ部門250点／レディース部門247点）の作品が提出された。



【H29. 7. 10 オリエンテーション】
東京モード学園

最終審査 (H29. 11. 24) と発表会 (H30. 2. 15)

一次審査を通過した12作品（メンズ部門6作品／レディース部門6作品）によるプレゼンテーションと最終審査が平成29年11月に行われ、各部門において最優秀賞1作品、優秀賞2作品が選ばれた。平成30年2月の発表会・デモンストレーションでは、試作品を着たモデル（モード学園の学生）がランウェイを歩き、会場を大いに盛り上げた。



【H30. 1. 1 日刊建設工業新聞記事より】



【発表会・デモンストレーションポスター】



【H30. 2. 15 受賞作品のユニフォームを着用した学生モデル】

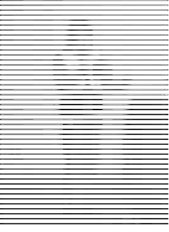
NEXT・ユニフォームデザインプロジェクト

建設産業女性活躍セミナー全国大会／H30. 3. 1 NHK総合「ニュース シブ5時」／H30. 6. 8 放送

国土交通省主催の会議で着用



青木建設流通政策審議官も
着用して会議に参加



ファッションを学ぶ学生達によってデザインされた作業着はこれまでの一般的な作業着と違い、カラフルで斬新。作業着、ユニフォームが新たなスタイルとなり、関心が向くことで、建設業界のイメージアップや人材不足の解消にもつながる。

群馬県建設業協会 環境すみずみパトロール隊

群馬県建設業協会・女性環境すみずみパトロール隊（GKG／ぐんけんガール）のユニフォームに採用。今年度から着用が開始され、100人規模の隊員が揃いのユニフォームで現場をパトロールした。



【H30. 10. 16 安中支部】 【H30. 10. 17 石井大臣群馬視察】 【H30. 10. 25 渋川土木事務所長表彰】 【変わる作業着！／シブ5時】

K O J I C H U プロジェクト～全建協連 仮囲いデザインアイデアコンテスト (H29)

デザインテーマ：「工事中と人々を結ぶ装置」

とかく工事中の建物は仮囲いに囲まれ、足場や養生シートに覆われて中の様子を伺い知ることができません。でも昔は住宅街の中でも新築中の家の現場では大工さんの働く様子がよく見えて、子どもたちは時々大工さんにかんな屑や材木の切れ端なんかもらったりして、家が建ち上がるのを見るのがとても楽しみでした。

もう一度そんな工事現場がつくれないでしょうか？それが今回の課題です。

パリやウィーンの現場では現場内の常設の見学コースや展望台、また計画中の建物の外壁をかたどった実際の敷地での展示など、様々な魅力的な「工事中」に出会ったことがあります。

工事中の現場を包み隠すのではなく、日々建ち上がる建築の楽しさや力強さ、美しさを伝えるものにできないでしょうか。

そこに働く人々にとってはそれが晴れ舞台となり、それを見守る人々にとっては建築が刻々と変化し築かれて行く様を観賞する観覧席となるようなアイデアを募ります。

グラフィックなどの単なる仮囲いのデザインを超えて、「工事中」と「人々」を結びつける「装置」のデザインを期待しています。（審査委員長・古谷誠章）

プロジェクトの概要

建築設計・デザイン分野の学生たちと一緒に工事現場について考える

- 大学院生、大学生、専門学校生、高専生、高校生が対象
- 3人以上のグループで応募（各グループには指導教員が必要）
- 審査委員長…古谷誠章／日本建築学会会長・早稲田大学理工学術員教授
審査委員 …宮崎桂／(株)KMD代表取締役・日本サインデザイン協会会長
…大西麻貴／o+h共同主宰・横浜国立大学客員准教授
…五道仁実／国土交通省大臣官房技術審議官
…北村知久／国土交通省大臣官房建設流通政策審議官
…佐々木基／(一財)建設業振興基金理事長
…藏谷伸一／全国建設業協同組合連合会副会長
- 対象工事現場：桜美林大学 本町田キャンパス新築工事（2020年度開校予定）



【対象工事現場パース／鹿島建設(株)より】



【H30. 10月現在の対象工事現場の状況】

学生を対象とした 一緒に考えよう「KOJICHU プロジェクト」

仮囲いデザインアイデアコンテスト

開催趣旨

私たちの全国建設業協同組合連合会（全建協連）は、工事現場を囲む仮囲いのデザインをテーマにしたコンテストを開催しています。仮囲いは「工事現場の顔」であり、工事現場の「顔」をデザインすることで、工事現場の魅力を高め、人々への理解を深め、工事現場のイメージを向上させることができます。

本コンテストは、KOJICHU プロジェクトの一環として、建築設計・デザイン分野の学生を対象として、工事現場の仮囲いデザインをテーマにしたコンテストを開催しています。本コンテストは、工事現場の仮囲いデザインをテーマにしたコンテストであり、工事現場の仮囲いデザインをテーマにしたコンテストです。

デザインテーマ：「工事中と人々を結ぶ装置」

工事中の建物は仮囲いに囲まれ、足場や養生シートに覆われて中の様子を伺い知ることができません。でも昔は住宅街の中でも新築中の家の現場では大工さんの働く様子がよく見えて、子どもたちは時々大工さんにかんな屑や材木の切れ端なんかもらったりして、家が建ち上がるのを見るのがとても楽しみでした。

もう一度そんな工事現場がつくれないでしょうか？それが今回の課題です。

パリやウィーンの現場では現場内の常設の見学コースや展望台、また計画中の建物の外壁をかたどった実際の敷地での展示など、様々な魅力的な「工事中」に出会ったことがあります。

工事中の現場を包み隠すのではなく、日々建ち上がる建築の楽しさや力強さ、美しさを伝えるものにできないでしょうか。

そこに働く人々にとってはそれが晴れ舞台となり、それを見守る人々にとっては建築が刻々と変化し築かれて行く様を観賞する観覧席となるようなアイデアを募ります。

グラフィックなどの単なる仮囲いのデザインを超えて、「工事中」と「人々」を結びつける「装置」のデザインを期待しています。

審査委員

審査委員長 古谷 誠章 / 建築家 / NASCA 主宰、早稲田大学教授
審査委員 宮崎 桂 / (株)KMD代表取締役、日本サインデザイン協会会長
大西 麻貴 / 建築家、o+h 共同主宰、横浜国立大学客員准教授
五道 仁実 / 国土交通省 大臣官房技術審議官
北村 知久 / 国土交通省 大臣官房建設流通政策審議官
佐々木 基 / 一般財団法人 建設業振興基金 理事長
藏谷 伸一 / 全国建設業協同組合連合会 副会長

賞金

最優秀賞	1点 50万円
優秀賞	1点 25万円
入賞	5点 各5万円

スケジュール

応募受付開始	平成30年10月17日(水)
募集受付締切	平成30年11月20日(火)
募集開始	平成30年11月28日(水)
応募締切	平成30年12月10日(月)
作品提出締切	平成31年1月21日(月)
1次審査結果発表	平成31年1月30日(水)
公開プレゼンテーション	平成31年2月14日(木)
2次審査結果発表	平成31年2月14日(木)

主催：全国建設業協同組合連合会 協賛：東日本建設業保証株式会社
後援：(一社)全国建設業協会、(一社)全国建設業団体連合会、(一財)建設業振興基金、西日本建設業保証株式会社

問い合わせ先 03-6382 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館 4F TEL 03-6382-0884
http://www.zenkenkyoren.or.jp kojichu-q@zenkenkyoren.or.jp

【KOJICHU プロジェクトポスター】

建専連の人材確保育成に向けた取組

平成30年11月



<http://www.kensenren.or.jp>

(一社) 建設産業専門団体連合会

(一社)建設産業専門団体連合会 会員名簿

平成30年10月現在

○正会員33団体

団 体 名	略 称	役 職	氏 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
(一社)カーテンウォール・防火開口部協会	カ・防協	会 長	山下 清胤	105-0002	東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル7階	03-6459-0730
消防施設工事協会	消施設工協	会 長	橋爪 毅	102-0074	東京都千代田区九段南3-5-6 スマイルビル2F	03-3288-0352
全国圧接業協同組合連合会	全圧連	会 長	大塚 毅夫	111-0053	東京都台東区浅草橋3丁目1番1号 TJビル7F	03-5821-3966
全国管工事業協同組合連合会	全管連	会 長	大澤 規郎	170-0005	東京都豊島区南大塚2-39-7 ヤマト大塚ビル4F	03-5981-8957
(一社)全国基礎工事業団体連合会	全基連	会 長	梅田 巖	132-0035	東京都江戸川区平井5-10-12 アイケビル4F	03-3612-6611
(一社)全国クレーン建設業協会	全ク協	会 長	柴崎 祐一	104-0028	東京都中央区八重洲2-7-9 相模ビル4F	03-3281-5003
(一社)全国建設室内工事業協会	全室協	会 長	吉田 茂穂	103-0013	東京都中央区日本橋人形町1-5-10 神田ビル4F	03-3666-4482
(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会	全圧連	会 長	長谷川 員典	101-0041	東京都千代田区神田須田町1-13-5 藤野ビル7F	03-3254-0731
(一社)全国タイル業協会	全タ協	会 長	玉置 雅一	461-0002	愛知県名古屋市中区代官町39-18 陶磁器センタービル2F	052-935-7941
(公社)全国鉄筋工事業協会	全鉄筋	会 長	岩田 正吾	101-0046	東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル4F	03-5577-5959
(一社)全国道路標識・標示業協会	全標協	会 長	清水 修一	102-0083	東京都千代田区麹町3-5-19 にしかわビル3F	03-3262-0836
(一社)全国防水工事業協会	全防協	会 長	高山 宏	101-0047	東京都千代田区内神田3-3-4 全農薬ビル6F	03-5298-3793
全国マステック事業協同組合連合会	マステック協連	会 長	鈴木 浩之	150-0032	東京都渋谷区鶯谷町19-22 塗装会館	03-3496-3861
ダイヤモンド工事業協同組合	DCA	理 事 長	山下 哲男	108-0014	東京都港区芝5-13-16 三田文銭堂ビル2階	03-3454-6990
(一社)日本アンカー協会	アンカー協会	会 長	中原 巖	101-0061	東京都千代田区三崎町2-9-12 弥栄ビル5F	03-5214-1168
(一社)日本ウレタン断熱協会	ウレ断協	会 長	丸山 和久	103-0013	東京都中央区日本橋人形町1-10-6 日本橋SDビル	03-3667-1075
日本外壁仕上業協同組合連合会	NGS	会 長	野口 陽一	151-0053	東京都渋谷区代々木2-5-1 羽田ビル502	03-3379-4338
(一社)日本機械土工協会	日機協	会 長	向井 敏雄	110-0015	東京都台東区東上野5-1-8 上野富士ビル9F	03-3845-2727
(一社)日本基礎建設協会	基礎協	会 長	脇 雅史	104-0032	東京都中央区八丁堀4-14-7 ファイブビル八丁堀705	03-3551-7018
日本金属工事業協同組合	日金協	理 事 長	有明 利昭	110-0016	東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル301	03-3831-2981
日本建設インテリア事業協同組合連合会	ジェイシフ	会 長	岩野 彰	102-0083	東京都千代田区麹町3-5 柳田ビル4F	03-3239-6551
(一社)日本建設躯体工事業団体連合会	日本躯体	常任理事	才賀 清二郎	173-0025	東京都板橋区熊野町34-7 東京躯体会館2F	03-3972-7221
(一社)日本型枠工事業協会	日本型枠	会 長	三野輪 賢二	105-0004	東京都港区新橋6-20-11 新橋IKビル1F	03-6435-6208
(一社)日本建築板金協会	日板協	会 長	石本 惣治	108-0073	東京都港区三田1-3-37 板金会館内	03-3453-7698
(一社)日本左官業組合連合会	日左連	会 長	長谷川 哲義	162-0841	東京都新宿区払方町25-3	03-3269-0560
日本室内装飾事業協同組合連合会	日装連	理 事 長	小坂田 達朗	105-0003	東京都港区西新橋3-6-2 西新橋企画ビル8F	03-3431-2775
(一社)日本シャッター・ドア協会	JSDA	会 長	長野 敏文	102-0073	東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル8F	03-3288-1281
(一社)日本造園組合連合会	造園連	理 事 長	荻原 博行	101-0052	東京都千代田区神田小川町3-3-2 マツシタビル7F	03-3293-7577
(一社)日本造園建設業協会	日造協	会 長	和田 新也	113-0033	東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階	03-5684-0011
(一社)日本タイル煉瓦工事工業会	日タ煉	会 長	矢部 晴也	162-0843	東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 5F	03-3260-9023
(一社)日本塗装工業会	日塗装	会 長	北原 正	150-0032	東京都渋谷区鶯谷町19-22 塗装会館3F	03-3770-9901
(一社)日本蔦工業連合会	日蔦連	会 長	清水 武	105-0011	東京都港区芝公園3-5-20 日蔦連会館	03-3434-8805
(一社)プレストレスト・コンクリート工事業協会	PC工協	会 長	小瀬谷 末義	162-0821	東京都新宿区津久戸町4-6 第3都ビル8F	03-3260-2545

○特別会員2団体

団 体 名	略 称	役 職	氏 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
(一社)日本空調衛生工事業協会	日空衛	会 長	長谷川 勉	104-0041	東京都中央区新富2-2-7 空衛会館3F	03-3553-6431
(一社)日本計装工業会	日計装	会 長	生駒 昌夫	105-0001	東京都港区虎ノ門2-8-1 虎の門電気ビル5F	03-3580-8921

○賛助会員3団体

団 体 名	略 称	役 職	氏 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
(一社)建設コンサルタンツ協会	建コン協	会 長	村田 和夫	102-0075	東京都千代田区三番町1番地 KY三番町ビル7F・8F	03-3239-7992
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	PC建協	会 長	藤井 敏道	162-0821	東京都新宿区津久戸町4-6 第3都ビル	03-3260-2535
(一社)日本電設工業協会	電設協	会 長	後藤 清	107-8381	東京都港区元赤坂1-7-8 東京電業会館4F	03-5413-2161
(一社)建設産業専門団体連合会事務局	建専連	会 長	才賀 清二郎	105-0001	東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館3F	03-5425-6805

建専連の取組について

1. (一社) 建設産業専門団体連合会(建専連)

○概要

専門工事業、設備工事業、建設関連業団体で構成する社団法人として**平成14年6月27日**に発足。

→平成25年4月1日に一般社団法人の認可。

○会員

正会員 33団体 ～ 企業数約5.5万社

特別会員 2団体

賛助会員 3団体

第17回総会決議 (H30年5月)

建設業の現状は、建設投資の大幅な減少から、過当競争を繰り返し、安値受注による企業経営の圧迫から、人材確保・育成を行う余裕がなく、賃金の低下、若年者の入職減少など、技能・技術の伝承も困難。魅力の無い産業になっている。

このままでは建設産業そのものが衰退し、今後増大するインフラ維持、安全安心な国土形成を担う者が居なくなるとの危機感から、公共工事設計労務単価の大幅な引き上げ、社会保険未加入企業の建設業許可・更新を行わない、働き方改革による週休二日制の推進、技能労働者の評価・専門工事企業の評価等について、国及び民間、総合工事業、専門工事業、労働者挙げての取組みが動き出した。

この機会に、将来を担う若者が希望を持って入職できる環境整備、健全な建設産業を目指し、全会員一致して以下の取組みを行うことを決議する。

1. 適正価格、適正工期で受・発注し、現場で働くすべての就労者が社会保険に加入し、安全経費を確保し、安心して働ける環境整備を図る。そのためには、技能労働者の直用化、月給制などの取組みを進める
1. 適正利潤を確保し、技能や経験に見合った給与の引上げを行い、技能労働者の処遇改善に努め、健全な企業体質にする
1. 安値受注を繰り返し、指値をしてくる企業とは契約を行わない
1. 登録基幹技能者・技能労働者の技能の見える化に合わせ、建設キャリアアップシステムの加入促進に努め、専門工事企業が適正に評価される体制整備を図る
1. 働き方改革における週休二日制の積極的な取組み・若手技能労働者の確保・育成と技能・技術の伝承ができる企業体制を確立する

3. 健全な建設産業・担い手確保・育成に向けた取組

(1) 広報活動

ホームページを活用した広報活動の展開

(一財) 建設業振興基金助成事業



建専連ホームページのトップ画面



専門工事業の職種紹介、社会貢献活動等を紹介「職人さんミュージアム」



会員団体の活動内容等を紹介「専門工事業Navi」

課題

- ・従来、縁故、保護観察者、予備自衛官等、**各企業単位**で若者の入職促進に向けた取組
- ・建設業が総合工事業だけではなく、職別に建設企業があることの不知

効果

- ・文部科学省や工業高校校長会へ接触
- ・いわれなき公共事業・建設業批判に対する理解



～**組織的**に取り組めないか検討

3. 健全な建設産業・担い手確保・育成に向けた取組

(2) 「職人さんミュージアム」 H22.7開設～、H30.8 現在 **アクセス数24万件超**
掲載内容（専門工事業の職種紹介、社会貢献事例等）



8のテーマによる専門工事業者の取組を紹介

- ① 災害時の復旧 ② 治安・安全・防災 ③ 環境保護・保全
- ④ 子どもの健全育成・学校支援 ⑤ まちづくり、経済(地場産業、商店街など)
- ⑥ 保健・医療・福祉 ⑦ 文化、芸術、スポーツ振興 ⑧ その他

3. 健全な建設産業・担い手確保・育成に向けた取組

(3) 「職人さんミュージアム」第2弾 「救急隊」(仮称)：平成24年度より実施
～プロ(職人さん)の目が地域の暮らしを守る「救急隊」～

○目的

日常生活に必要な公共構造物、国土の異常に気付ける人(専門工事業者)が主体(地区建専連加盟団体協働
—国・都道府県・市区町村担当部署)となって、地元、自治体職員等と連携のもと、住みよいまち・国づくりの手助けを
行うことを目的とする。

○連携

公共構造物等の診断という事から国、都道府県、市町村、その他機関との連携(協定締結等)を図る。

実施成果のある地区建専連

沖縄地区(H24～)

：沖縄市、大学教授、工業高校教諭、沖縄市建設業者会、管工事(協組)、建築士事務所会、土木コンサル
会、電業界等の委員により構成される委員会(事務局：沖縄地区建専連)を設立し、検討を実施。

その後、「OTRG」(オキナワ・タウン・リサーチ・グループ)として協議会を発足し、**市民の安全・安
心を主軸とした市の理想のとなる街づくり**に向けた具体的な事業展開をまとめ、平成26年5月に沖縄市長
へ報告。

平成29年10月16日「おきなわ建設フェスタ」開催(沖縄県総合運動公園)

北海道地区(H25～)

：北海道建設業協会等と**建設業PR漫画「ただいま工事中!!」**～建築工事編を平成26年10月30日に公表、土木
工事編を平成27年10月30日に公表。

平成30年1月13～14日「建設産業ふれあい展」を札幌地下歩行空間で昨年に続き開催。

事業実施中、着手している地区建専連

- 九州地区 (H27～) 地域連携ネットワーク構築((仮称)建設専門工事業雇用促進・労働改善協議会)
- 中部地区 (H25～) 建設専門工事業合同体験フェアの開催(愛知県建設業協会等と中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会)(吹上ホール H29.5.31)
- 中国地区 (H25～) 建設フェア (H30.10予定) の開催に向けた予備調査の実施
- 四国地区 (H27～) 香川県専門工事業担い手確保・育成推進協議会
「匠の学舎アカデミー・職人育成塾」開校支援
- 近畿地区 (H27～) 技フェスタ-建築技能体験フェア-の開催(大阪府建団連と)
(鶴見緑地 H27.7.31-8.1,H28.7.15-16,H29.7.14-15)
- 北陸地区 (H27～) 中学生と保護者、糸魚川高校出前講座(整備局と)(H27.7.28)
新潟県建設業協会と県立専門高校メッセの開催(新潟建協と)(H27.8.11)
中学生と保護者(朱鷺メッセ H28.8.23)
県立専門高校メッセへの出展(ハイブ長岡 H29.8.8)
- 関東地区 (H27～) 「YUME-KYO」の設立(関東地整と関東圏専門工事業担い手確保・育成協議会)
出前講座「墨田区教育委員会」「さいたま市親和小学校」等
「職人育成塾利根沼田テクノアカデミー」開校 廃校小学校跡地を訓練施設として/板金、瓦から
- 東北地区 (H28～) 専門工事業をアピール 就職ガイドブック「建設ナビ」発行(みやぎ建設総合センター協賛)

3. 健全な建設産業・担い手確保・育成に向けた取組

(4) 建設スキルアップサポート制度 (平成21年4月～)

(一社) 日本建設業連合会助成事業

- ・ 工業高校等（学生）若年者の入職支援
- ・ 入職前（学生時）に取得した資格の費用を建設企業に入職した者を対象に、**1万円を限度**に支給
- ・ 平成21～29年度での**助成対象者は、1,447名**



3. 健全な建設産業・担い手確保・育成に向けた取組

(5) 出前講座等（技能等の講習会、体験学習受入、等）

【関連機関】厚生労働省、文部科学省、法務省、防衛省、日建連、全建、富士教育訓練センター等

【対象】入職前の学生、学校の先生、受刑者、小中学生



地域の住民、中学生、保護観察中の少年等と落書き消去、福祉施設の振り替えなど(塗装)



専門学校に出前講座で技能検定2級の課題を実践指導(鉄筋)



法務省「更生保護制度」と連携し、「社会を明るくする運動」に協力



高校生に出前講座で鉄筋ガス圧接の実践的な指導(圧接)



地域の「子どもを守ろうプロジェクト」で安全施設等を寄付し防犯意識の啓発(標識)



防衛省「予備自衛官制度」と連携し、予備自衛官の入職に協力

地域への貢献活動

掲載事例は順次追加していく予定です。



建設産業団体別 INDEX

地域別でみる テーマ別でみる

■(一社)日本建設躯体工事業団体連合会

- (1)中学校新卒採用率全国ナンバー1である。(7年ほど前の労働局からのコメントによる)
- (2)雇用主会とは別に、刑務所から直接採用している(今は22名雇用)。
- (3)児童福祉センターから、少年を採用している。
- (4)北海道障害者就業支援プログラムに参加している。
- (5)知的障害者を雇用している。
- (6)各種講演や講話等に協力している。
- (7)その他、多数[北洋建設(株)／葦土工(北海道)]

(1)町内(米里地区)において、車上荒らしや車両の盗難が多いために、防犯パトロールを行っている。

(2)北郷東町内会8班により、高齢者住宅の除雪作業を行っている。[(株)大石建設／葦土工(北海道)]

(1)地域の公園や道路などの公共空間を自発的に清掃美化活動に取り組む地域住民・団体・個人や市民の活動団体である「まちピカパートナー」として、活動している。

(2)室蘭建設協会会員と行政が災害時に協力して災害復旧に当たる防災協定を締結している。
[石原建設(株)／葦土工(北海道)]

春と秋の年2回、会社周辺の歩道(1.2km区間)のゴミ拾いを行っています。[(株)谷脇組／葦土工(北海道)]

みちのくEMS環境管理活動の一環として、定期的に本社付近、現場付近の清掃活動を実施しています。[皆成建設(株)／葦土工(宮城県)]

・土嚢の作成・災害時の地域貢献(1. 被災車両の撤去。2. 崩落した建物の解体撤去。)[遠藤興業(株)／葦土工(宮城県)]

河川の清掃活動。[藤田建設(株)／葦土工(宮城県)]

今年4月～8月まで、災害復旧のために延べ300名を派遣して、石巻市でボランティアを行った。

現在は、ボランティア休暇を推奨している。状況により、再度の派遣を検討している。[(株)野口工務店／葦土工(東京都)]

(1)月2回(第一・第三水曜日)、地域の道路・歩道の清掃活動を行っている。

(2)新大橋地区・向島地区などの地域の災害発生時の救援、復旧活動に参加している。[金子架設工業(株)／葦土工(東京都)]

(1)得意先を通じて、災害復興活動に参加している。具体的には、福島原発の災害対策工事や栃木県・茨城県内の災害復興工事を行った。

(2)ロータリークラブを通じて、福島原発事故に伴って避難されている方の雇用創出支援として、就職のサポートを行っている。また岩手県釜石ロータリークラブと共同で、東日本大震災時の津波最高地点のモニュメントとしての津波の道標(みちしるべ)の設置事業を行った。

(3)地域の交通安全協会に所属し、地域の交通安全活動に協力。協会からの依頼により、セーフティドライバーコンテストに全社員が参加し、運転マナーの向上、事故防止を推進している。

[(株)DJK／葦土工(東京都)]

(1)元請からの要請に対して迅速に対応できる体制を整え、災害復興活動に人材また機材等を投入できるようにするため、自社及び下請協力会社との連携を強化している。

(一社)カーテンウォール・防火開口部協会

消防施設工事協会

全国圧接業協同組合連合会

全国管工事業協同組合連合会

(一社)全国基礎工事業団体連合会

(一社)全国クレーン建設業協会

(一社)全国建設室内工事業協会

ダイヤモンド工事業協同組合

(公社)全国鉄筋工事業協会

(一社)全国道路標識・標示業協会

(一社)全国防水工事業協会

全国マステック事業協同組合連合会

(一社)全日本瓦工事業連盟

(一社)日本アンカー協会

日本外壁仕上業協同組合連合会

(一社)日本機械土工協会

(一社)日本基礎建設協会

日本建設インテリア事業協同組合連合会

(一社)日本建設躯体工事業団体連合会

(2)[(株)岸田組／蔦土工(東京都)]

足立区災害応急対策業務に参加。災害時の応急処置、建設資材等の提供を行う(足立区地域防災計画)。(株)新井組／蔦土工(東京都)

得意先と一致協力し、現在は福島原発の災害対策工事や大熊町、広野町の除染関連工事、新地町の震災復興づくり工事などの災害復旧活動を行っている。[大崎建設(株)／蔦土工(東京都)]

職場体験(インターシップ導入)2009年～

専門高校デュアルシステム活用 2015年～

キャリアパス(技能工昇進モデルプラン)作成 2015年～

[(株)鈴木組／蔦土工(東京都)]

・東日本大震災の被災地、南三陸町の復興のため、地域活性化と被災者雇用を大前提に地元の方50名を直接雇用し、災害廃棄物処理(がれき処理)を進めている。[向井建設(株)／蔦土工(東京都)]

・元請企業として地元建設業協会を通じ、防災協定を締結している。・埼玉県の「彩の国ロードサポート」に参加し、ボランティアでの道路の清掃美化活動に取り組んでいる。[平岩建設(株)／蔦土工(埼玉県)]

・福島原発事故発生時、作業員の送り込みをしました。・ゼネコンより災害があった場合の協力依頼があり、協力させていただく予定。[(株)若林工務店／蔦土工(神奈川県)]

(1)河川堤防のごみ取りを行う「クリーン作戦」に参加、活動をしている。

(2)安八町と連携して、災害復興活動を行っており、重機や人材を供与している。

(3)安八町からの要請により、積雪時の雪どけ、排除を行っている。[(株)古沢組／蔦土工(岐阜県)]

近隣地区の清掃活動を行っている。[(株)マブチ工業／蔦土工(静岡県)]

・名古屋市長と災害時における応急対策業務に関する協定を締結。

・愛知県知事、中部地方整備局とも同様の協定を締結。

・毎年名古屋市の防災訓練に参加。

・地域の清掃活動にも参加。[(株)川口組／蔦土工(愛知県)]

・被災地への救援物資の調達、配送と現地での復旧、復興、支援作業活動[向井建設(株)名古屋営業所／蔦土工(愛知県)]

・河川のごみくずなどの回収に積極的に参加する。・地域の稀少生物の保存(土木工事により影響しないよう)。・地域の外来生物の駆除。・災害時に、車、人などの応援協力。[(株)古沢組／蔦土工(愛知県)]

日本赤十字社愛知県支部に対し、毎年、医療、福祉充実の為の支援を行っている。[(株)豊徳／蔦土工(愛知県)]

近畿地方整備局と京都府建設業協会を通じて、「災害時における近畿整備局所管施設等の緊急災害応急対策業務に関する協定書」を締結。[(株)吉川組／蔦土工(京都府)]

東日本大震災、阪神大震災時には、職人を派遣し、復興に協力し、また団体活動を通じて、被災地への炊き出し等協力させていただきました。[(株)ヤマシタ／蔦土工(大阪府)]

事業所防犯活動への参加、交通安全協会が行う行事への参加、駐車場組合における地域活動への参加、ゲートボール連盟への参加、子供を守るパトロール車への参加、地域生活道路のゴミ拾いなど、広く地域の治安・安全の関連した取り組みを行っている。[(株)高木組／蔦土工(大阪府)]

東大阪市建設業協同組合として、「大規模災害発生時における応援に関する協定書」に基づいて、災害応急活動に従事する。[(株)根建組／蔦土工(大阪府)]

災害復興活動時には迅速な対応ができるよう体制作りを目指し、元請と連携して災害時の緊急時出動体制を作成した。[(株)名和組／蔦土工(大阪府)]

震災復興支援のために、船で職人や資材を運んだ経験がある。[宇光建設(株)／蔦土工(大阪府)]

三島地区地震防災ボランティアに登録し、市内の大正川の氾濫に対して、水防任務を実施する。[岸本建設(株)／蔦土工(大阪府)]

(一社)日本型枠工事業協会

(一社)日本建築板金協会

(一社)日本左官業組合連合会

日本室内装飾事業協同組合連合会

(一社)日本造園組合連合会

(一社)日本造園建設業協会

(一社)日本塗装工業会

(一社)日本蔦工業連合会

(一社)日本電設工業協会

建設産業専門団体北海道地区連合会

建設産業専門団体東北地区連合会

建設産業専門団体北陸地区連合会

建設産業専門団体中部地区連合会

建設産業専門団体中国地区連合会

建設産業専門団体四国地区連合会

その他

高槻市建設業会として、高槻市と防災協定を締結している。また三島地区地震防災ボランティア(三島水防協力会)に参加し、防災活動に努めている。

毎週金曜日の朝礼後、会社周辺の道路及び歩道の清掃活動を実施している。〔吉岡建設(株)／
蔦土工(大阪府)〕

・NPO法人大阪水上安全協会へ加盟し、地震災害時での上水輸送及び航路確保等の為の各種災害時訓練に参加、協力。・大阪府との災害時の応急対策要請に協力。〔(株)藤井組／蔦土工(大阪府)〕

所属している(一社)大阪府建団連等が大阪府と「災害時における応援協力に関する協定」を締結し、その協定に基づく協力企業として登録し、甚大災害時に、防災対策危機管理委員会を置いて、災害発生時の諸活動を行う他、危機管理意識の向上のため訓練等を行っている。〔山岡建設(株)／蔦土工(大阪府)〕

鶴見区災害時地域協力貢献事業所へ登録。〔亀田コンストラクト(株)／蔦土工(大阪府)〕

・尼崎市と尼崎建設事業協同組合との間で「災害時における応急対策業務に関する協定書」を締結。

・兵庫県と兵庫県建設業協会尼崎支部との間で「災害における応急対策業務に関する協定書」を締結。〔(株)オカモトコンストラクションシステム／蔦土工(兵庫県)〕

尼崎市市民まつりへの寄付及び積極的な参加を続けている。〔(株)岡本工務店／蔦土工(兵庫県)〕

・尼崎市と災害時における応急対策の協力に関する協定を締結・平常時においても防災訓練等に協力・武庫川河川敷清掃活動に参加・武庫川盆踊り大会の櫓を毎年設置・尼崎交通安全協会の活動・尼崎市社会福祉協議会に協力〔クサカ建設(株)／蔦土工(兵庫県)〕

(1)(社)島根県緑化推進委員会の一員として、「緑の緑化運動」を進めている。

(2)(財)松江市国際交流委員会が行う募金及び寄付活動、また行事への参加等の活動に取組んでいる。〔(有)キョウワビルト工業／蔦土工(島根県)〕

・山陽小野田市消防団へ社員を派遣している(現在4名)・山陽小野田市消防出初式へ毎年参加している・やまぐち教育応援団へ参加している・山口県無事故・無違反コンテスト150への参加・コレワークへの登録並びに更生保護振興協力雇用主登録をしている・山口建設業労務研究幹事として、建設用労働災害防止協会との協力体制検定試験へ把握している。〔(有)栗栖工業／蔦土工(山口県)〕

・月2回地域清掃活動の実施。・地域工業団地内の行事参加など。〔住吉興業(株)／蔦土工(山口県)〕

地元の中学生の「職場体験」の受け入れ。〔(有)光工業／蔦土工(香川県)〕

・香川県知事と「災害時における応急対策業務に関する災害協定」を締結している。・高松市、高松市上下水道局と「災害における応急対策業務に関する協定」を締結している。〔城北建設(株)／蔦土工(香川県)〕

・地元小学校や部落行事への寄託。・従業員の娘さんの職業体験学習の実施。〔(有)佐々木組／蔦土工(香川県)〕

地域貢献活動として、地元地域の川の清掃やゴミ拾いのボランティア活動、地元町内の電柱設置に取組むほか、地元町内での地震を想定した避難訓練に協力、協賛しており、地震体験車の依頼や消火器指導、炊き出しの実践などを行っている。〔中山建設(株)／蔦土工(徳島県)〕

・風水災害時の緊急対策工事等に関する協定書(1)平成16年頃より夜間出勤実績有り、平常時は福岡県管理河川のうち約2kmの点検を毎月実施。担当者は月1回写真を撮り、6か月目に指定様式の写真集にして、年2回提出している。(2)緊急時の対策として、1. 土嚢袋を商社と予約。2. 砕石会社と契約し、24時間土嚢作りができる態勢。3. 社員と協力会社の連絡を密にし、重機トラック等を待機させ、県からの出動要請を待つ。4. 蹄疫等防疫支援に関する地域協定を締結。平時は、養鶏場等の所在地、道路の調査、建設機械の確保、運搬方法等事前調査。〔(株)横市組／蔦土工(福岡県)〕

・福岡市「花いっぱい活動」への参加・協力・福岡建設専門学校への講師派遣・福岡県立福岡工業高等学校での足場組み立て解体講習への講師派遣〔中村工業(株)／蔦土工(福岡県)〕

・除草活動ボランティア活動〔安部建設(株)／蔦土工(佐賀県)〕

・周辺地域の清掃活動及び防犯パトロールを実施している。・「土木の日」イベントの参加等を通じて、地元住民との交流を図っている。・現場事務所において、自社製品である太陽光発電システムを設置し、環境保全に努めると共に、災害時の緊急用電力に使用できるよう、周知をすすめている。[門田建設(株)／蔦土工(長崎県)]

熊本県、熊本市と緊急災害協定の締結し、災害時の重機・ダンプ・重機オペレーターの出動協力。[(株)丹波建設／蔦土工(熊本県)]

都城市と「大規模災害時における応急措置業務等に関する基本協定」を締結。[(株)徳丸開発／蔦土工(宮崎県)]

鹿児島県建設業協会川内支部にて鹿児島県知事と「災害時における応急対策の協力に関する協定」を締結。[(有)宮下組／蔦土工(鹿児島県)]

鹿児島青年会議所と地域環境の保護及び保全に対する活動を実施。[(有)平組／蔦土工(鹿児島県)]

[PAGE TOP](#)

[HOME](#) | [専門工事業パノラマ](#) | [地域への貢献活動](#) | [アンケート結果](#) | [リンク集](#) | [お問い合わせ](#)

copyright(c) 2015 一般社団法人建設産業専門団体連合会 all rights reserved

(一社) 全日本建設技術協会の取組み

建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会 資料

1. 全建賞

～本会では、良質な社会資本整備の推進と技術水準の向上や、建設技術者の励みとなることを目的に、毎年、優れた事業や施策を実施した機関を表彰しています～

全建賞は、優れた建設技術の創意工夫をこらした活用並びに事業の進め方やインフラの運用の工夫等により、秀でた成果の得られた、もしくは得ようとする事業又は施策、および、国民の安全・安心確保に資する等の社会貢献活動や公共事業全般に対する理解の向上等に貢献する事業又は施策を選考し、これを実施した機関と施工会社を表彰するものです。

昭和 28 年度に設けられ、これまで 65 年間にわたり、2,562 事業に授賞しています。

公共事業の評価や実施体制が大きく変化する中、優れた事業や施策を表彰する全建賞の受賞が、たゆまぬ努力を続けている建設技術者の励みとなるとともに、品質の優れた社会資本整備に貢献しています。

平成 29 年度では、317 の応募事業の中から、東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠 15 事業を含む 81 事業、施工に当たった延 204 社の賛助会員に授与しました。

全建賞の受賞については、全国各地の新聞等で採り上げられるなど、高い評価を受けています。

1. 全建賞の概要

【授賞の対象と部門】

- ①「インフラ整備のハード面に秀でた事業・ソフト面に秀でた取り組み」
道路、河川、都市、住宅、建築、港湾、鉄道の 7 部門。
- ②「インフラ整備に係わらない公共事業全般に関する取り組み」
・部門別に分類ができない取り組み(広報活動、TEC-FORCE 活動、新工法の研究開発 等)

事業規模の大小は選考のポイントとしてはおりません。

【授賞事業の対象期間】

当該年度に完了(予定)の事業、及び完了後 3 年以内の事業が対象です。

過年度に応募され受賞に至っていない事業(又は施策)を再度応募することができます。

【選考のポイント】

ハードの面(建設技術の活用)又はソフトの面(公共事業の進め方や運用の工夫等)から、特出した成果(例えば、事業等の内容や成果が優れたものであ

り、かつ、先駆的に取り組まれているもの)を評価します。

【審査】

国土交通省の各専門の担当者による予備審査の後、大学や民間の学識者を中心とした委員による審査委員会(委員長:石田東生 筑波大学名誉教授・特命教授)を行い、延べ 2 ヶ月間におよぶ慎重な審査を経た選考が行われます。

【表彰式】

毎年 6 月に行われる表彰式では、ご来賓に国土交通省の幹部の皆様と顧問である国会議員の皆様をお迎えして行われています。平成 29 年度表彰では、国土交通技監である森様や参議院議員足立敏之様にご臨席いただいております。



表彰式の様子

2. 主な特徴

- ①「維持管理事業、ストックの運用等」についても対象としています！
- ②「東日本大震災の復旧・復興事業」については、「特別枠」を設けています！



表彰状及び盾

2. 各種の個人表彰

～本会では、本会の目的達成に功績を残された皆様、建設技術者の模範である皆様、国土整備に優れた功績を挙げた皆様、災害支援活動に顕著な貢献があった皆様などを表彰し、功績を讃えています。～

1. 個人賞の概要

【授賞の種類】

①谷口賞

i 授賞人数 若干名

ii 授賞基準

長期間にわたり全国的視野から建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上に貢献し、本会会員の模範であることなど。

②谷口功労賞

i 授賞人数 4 5 名程度

ii 授賞基準

長期間にわたり建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上に貢献し、本会会員の模範であることなど。

③小沢賞

i 授賞人数 4 5 名程度

ii 授賞基準

技術者として10年以上の経歴を有し、後進の指導育成に尽力してよく成果を上げたことなど。

④全建功労賞

1号該当

i 授賞人数 29 年度実績 21 名

ii 授賞基準

国土整備に係る行政の推進に多年にわたり献身精励し、他の模範であることなど。

2号該当

i 授賞人数 29 年度実績 134 名

ii 授賞基準

国土整備に係る行政の推進に多年にわたり献身精励し、特に現地に係る業務に優れた功績を挙げたことなど。

3号該当

i 授賞人数 29 年度実績 1 名

ii 授賞基準

技術の開発・応用、業務の改善などに優れた功績を挙げたことなど。

4号該当

i 授賞人数 29 年度実績 150 名

ii 授賞基準

被災地の災害支援活動に派遣され、顕著な貢献があったこと。

2018年11月20日
国土交通省
「建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会」

一般社団法人 土木技術者女性の会

会長 渡辺弘子

会の歩み

1982年9月 土木学会誌上で座談会開催（5名）

1983年1月 土木技術者女性の会発足（28名）



1986年度総会

2013年11月18日（土木の日）一般社団法人化

2014年6月 内閣府「平成26年度女性のチャレンジ賞」受賞



2018年11月現在 会員数370名（うち学生会員23名）

会の目的

- ①土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
- ②土木界で働く女性技術者の知識向上
- ③女性にとって魅力のある、
働きやすい土木界の環境づくり
- ④女性土木技術者の社会的評価の向上
- ⑤土木技術者を目指す女性へのアドバイス

「坑内労働規制」緩和への働きかけ

1947年

「坑内」→炭鉱
母体保護のために必要だった規制

近年

「坑内」→トンネル
現場担当者であるにも関わらず入坑できない

2003年 坑内労働規制緩和WG設置



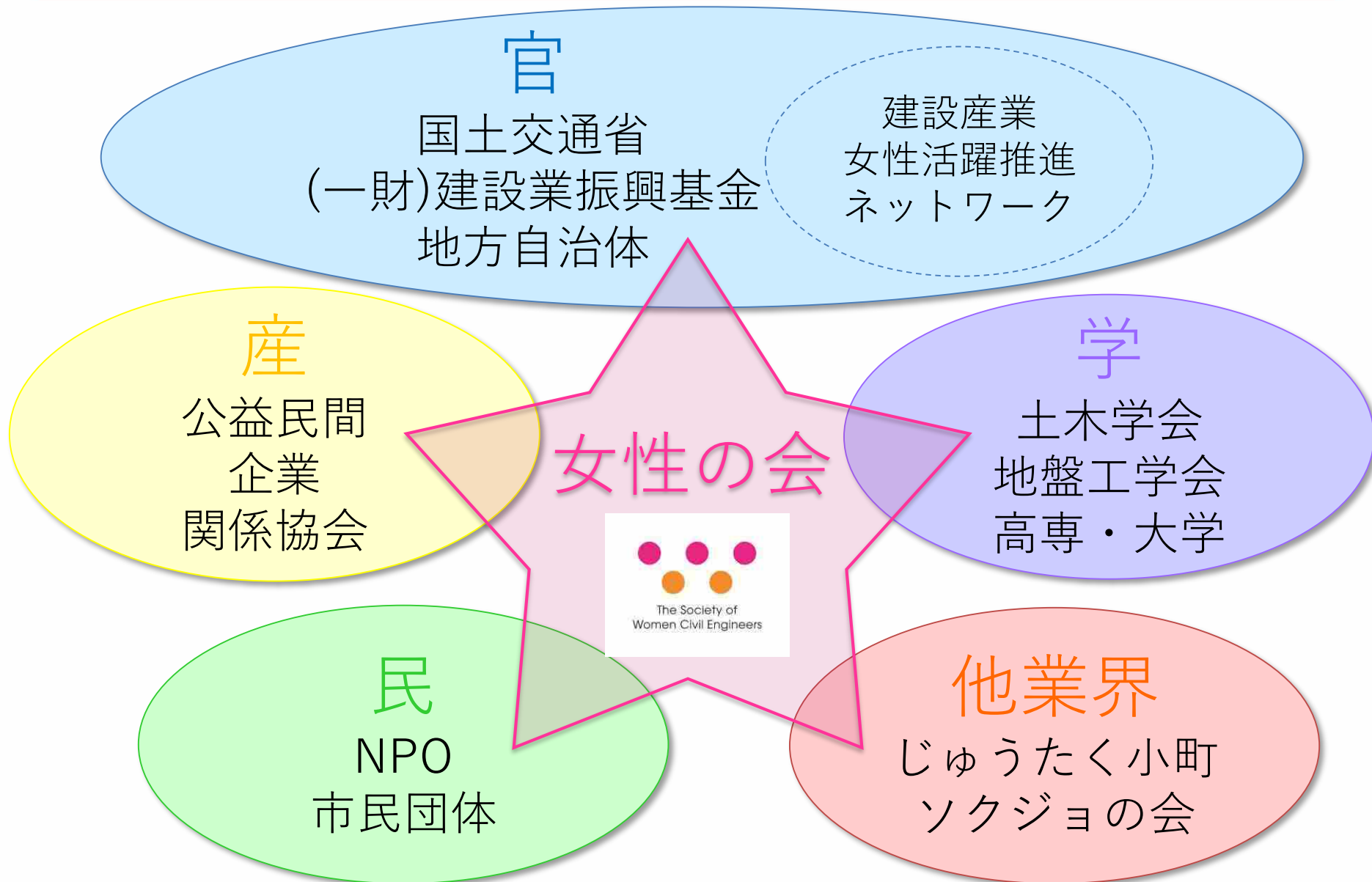
女性技術者はOK

女性技能者は未だNG

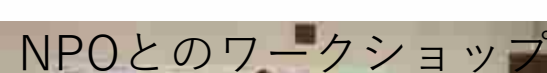
∴活動は(公社)土木学会を
中心に現在も継続中

しかし...

環境づくり・社会的地位の向上 他団体と連携した活動



環境づくり・社会的地位の向上 他団体と連携した活動

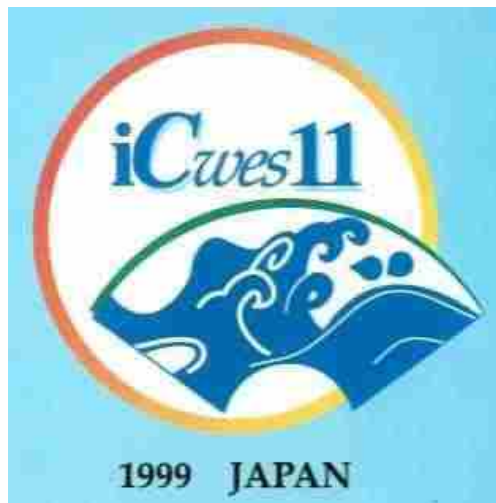


環境づくり・社会的地位の向上 国際会議セッションの運営/出展



1999年 第11回

国際女性技術者・科学者会議



2015年

第5回 世界工学会議



2019年 第8回

アジア土木技術国際会議



2019年4月16日～19日
ホテルメトロポリタン
東京池袋

環境づくり・社会的地位の向上 広報活動

2010.10.3 TBS系放送



2017.1.21 神戸新聞

2014年度総会時のTV取材



2012年 大阪
サイエンスカフェ
(商店街で買い物客に広報)

～ サポーター ～
会の理念に賛同して
くださる個人、団体
(194名, 19団体)



一般社団法人 土木技術者女性の会
サポーター募集

活動をさらにパワーアップするため、私たちの理念に賛同し、継続して活動を応援してくださる「サポーター」を募集しております。
皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いします。

■資格
当会の目的に賛同し、賛助するために活動を支援してくださる個人・団体は、どなたでもサポーターになることができます。

■種別
サポーター(個人、団体とも)：年会費 一口 3,000円 一口以上

■特典
①当会の活動状況をメールニュースや会誌「輪」等でお知らせします。
②現場見学会等の一部のイベントにご参加いただけます。
③サポーター専用マークを名刺等に活用できます。

■申込方法
入会申込書をお送りしますので、電子メールにてご連絡ください。
■申込先：register@womencivilengineers.com

■会費支払方法
・サポーター(個人)：お送りする払込票により、コンビニエンスストア等でお支払いください。
・サポーター(団体)：請求書をお届けしますので、銀行振込等にてお支払いください。

一般社団法人 土木技術者女性の会
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-1-9 矢沢ビル4階
E-Mail：info@womencivilengineers.com

アドバイス 次世代の育成

女子中高生夏の学校

：国立女性教育会館（毎年8月）



女子学生キャリアセミナー

：東京ウィメンズプラザ（毎年11月）



夏のリコチャレ

：東京，大阪で開催（2018年8月）ドボジョと現場体験！



（小・中学生および
その保護者も参加）

協力：国交省，JR西日本

アドバイス 次世代の育成

継続は力なり
女性土木技術者のための
キャリアガイド



土木学会創立100周年記念出版 第1号

発行：2013年1月

編集：ダイバーシティ推進小委員会（編）

協力：土木技術者女性の会、地盤工学会

就職支援冊子『Civil Engineerへの扉』
「土木広報大賞2018」審査員賞受賞

2017年版



1999年版



2006年版



編集・発行（一社）土木技術者女性の会

会の役割 = 会の目的

- ①土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
- ②土木界で働く女性技術者の知識向上
- ③女性にとって魅力のある働きやすい土木界の環境づくり
- ④女性土木技術者の社会的評価の向上
- ⑤土木技術者を目指す女性へのアドバイス

●女性ネットワークの形成と相互連携

●多彩なロールモデルの提示

スーパーウーマン型から

ワークライフバランス型へ

●土木の魅力の広報と次世代の育成

これからも

2018年度総会（大阪）



着実に歩んでいきます